

令和元年度
宮城県渋滞対策連絡協議会
第 1 回 資 料

令和元年 8月

目次

1. これまでの流れについて
2. 東京2020オリンピック競技大会〈宮城大会〉に向けた対応について
3. 渋滞対策について
4. 国道48号さくらんぼ狩り期の渋滞対策について
5. 道路利用者団体との連携による渋滞対策の推進について
6. 今後の取組方針について

1. これまでの流れについて

- 平成24年度、「宮城県の主要渋滞箇所251箇所」を公表。平成26年度から主要渋滞箇所について速度状況のモニタリングを行い、事業実施による渋滞緩和効果の分析、主要渋滞箇所の解除等を継続的に実施。
- 平成30年度第1回協議会では、速度状況のモニタリング結果の提示、主要渋滞箇所の解除候補(案)、道路利用者団体との連携による取り組み等を報告。平成30年度第2回協議会では、事業完了箇所の報告、自治体との連携の取り組み、東京2020オリンピック競技大会に向けた課題等を共有した。

平成24年度

主要渋滞箇所の特定・公表(一般道251箇所、高速道路18箇所)

(H25. 1. 24公表)

平成25年度
↓
平成27年度

宮城県の渋滞箇所に係る渋滞対策の基本方針(案)の決定
主要渋滞箇所のモニタリング方法の決定、モニタリング

平成28年度

主要渋滞箇所の解除基準案
主要渋滞箇所の解除(一般道8箇所)

主要渋滞箇所 残箇所
(一般道243箇所、高速道路18箇所)

平成29年度

主要渋滞箇所の解除(一般道3箇所、高速道路10箇所)
上愛子地区検討部会について

主要渋滞箇所 残箇所
(一般道240箇所、高速道路8箇所)

平成30年度
第1回渋滞協

主要渋滞箇所の解除(一般道3箇所、高速道路2箇所)
道路利用者団体との連携による渋滞対策の推進 等

主要渋滞箇所 残箇所
(一般道237箇所、高速道路6箇所)

平成30年度
第2回渋滞協

事業完了箇所の報告、今後の取組方針 等

令和元年度
第1回渋滞協

東京2020オリンピック競技大会<宮城大会>に向けた対応
主要渋滞箇所の解除について、道路利用者団体と連携した渋滞対策の推進 等

2. 東京2020オリンピック競技大会〈宮城大会〉 に向けた対応について

- 宮城スタジアム(利府町)では、2020年オリンピック時にサッカー会場として利用。
- 仙台駅や荒井駅、泉中央駅、利府駅、多賀城駅等の周辺駅からのシャトルバスルートに関係者で検討中。
- 地域の実情に応じた交通需要マネジメント(TDM)施策の実施が必要。

【施策例】

大会輸送情報(関係者ルート、観客ルート等)周知、経路分散、公共交通機関への転換等

▼各ルート上の主要渋滞箇所

種類	ルート	箇所番号	交差点名	路線名	道路管理者
シャトルバス	泉中央駅 ～スタジアム	74	将監	(主)仙台泉線	仙台市
		86	明石台団地	市道	富谷市
	利府駅 ～スタジアム	162	県道堀切前	(県)利府停車場総合運動公園線	宮城県
		170	市道堀切前	(県)利府停車場総合運動公園線	宮城県
		171	新屋田前	(県)利府停車場総合運動公園線	宮城県
	仙台駅 ～スタジアム	39	銀杏町	市道	仙台市
		145	箱堤	国道4号	仙台河川国道
166		洞ノ口	(主)仙台松島線	仙台市	
関係者輸送	仙台宮城IC ～仙台駅	70	西公園前	国道48号	仙台河川国道
		56	大町	市道	仙台市

※仙台駅周辺、泉中央駅周辺を除く

宮城スタジアムへのルート案 ▶

※輸送ルートは、宮城県輸送連絡調整会議(第3回)(2018年11月29日時点)にもとづく

宮城スタジアム(サッカー) 関係者輸送ルート案・観客シャトルバスルート案



- ・宮城スタジアムで開催された大規模イベント時の交通状況等を分析し、2020オリンピックに向けての課題を抽出。
- ・6月9日のキリンチャレンジカップ時の状況について、アンケート調査、ETC2.0プローブデータから分析。

▼ キリンチャレンジカップの概要

開催日時・場所	【開催場所】 宮城スタジアム 【開催日時】 2019年6月9日 19:00 キックオフ（16:00開場） 20:50 終了
観客数	38,092人（日本サッカー協会発表）
取り組み内容等	【駐車場】 一般駐車場：3箇所（予約制） <ul style="list-style-type: none"> ・宮城スタジアム内駐車場：収容台数1,600台、4,500円/台 ・めぐみ野サッカー場内駐車場：収容台数 380台、3,500円/台 ・利府町健康福祉センター内駐車場：収容台数 100台、3,500円/台 【シャトルバス】 <ol style="list-style-type: none"> ① 会場 ⇄ JR仙台駅 往路:76便、復路:82便（片道大人1,250円、小人630円） ② 会場 ⇄ 市営地下鉄泉中央駅 往路:50便、復路:53便（片道大人1,050円、小人530円） ③ 会場 ⇄ JR利府駅 往路:75便、復路:62便（片道大人250円、小人130円） 【案内看板設置】 直轄国道上に6箇所、地方道に43箇所 【公共交通の増便等】 JR(往路)臨時便・増結便等6便、(復路)臨時便9便 【交通規制】 一部車線規制、路肩駐停車規制

■アンケート実施概要及び結果

- ・キリンチャレンジカップの来場者を対象に、QRカードを配布してWebアンケートを実施。
- ・13,400枚アンケートカードを配布し、回答者は858人(回収率は6%、目標回収率3%)。

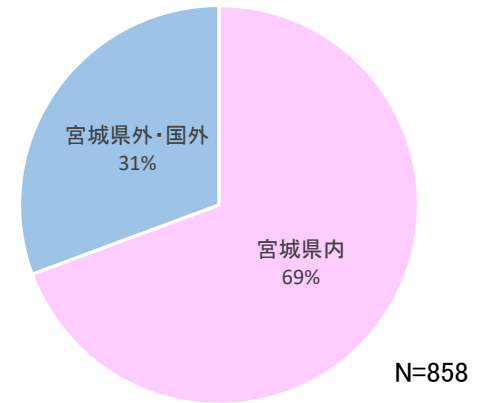
アンケート実施概要

- ◆アンケート調査日
 - ・令和元年 6月9日(日)
- ◆アンケート回答期間
 - ・令和元年 6月9日(日)～6月16日(日)
- ◆調査方法:WEBアンケート調査
 - ・アンケートカード(13,400枚配布)からQRコードを読み込み回答
- ◆アンケートカード配布場所
 - 【シャトルバス乗車場所:3箇所】
 - ・仙台駅
 - ・泉中央駅
 - ・JR利府駅
 - 【駐車場:3箇所】
 - ・宮城スタジアム内駐車場
 - ・めぐみ野サッカー場内駐車場
 - ・利府町保健福祉センター内駐車場

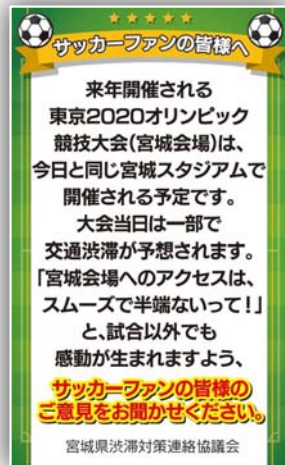
【アンケートカード配布位置図】



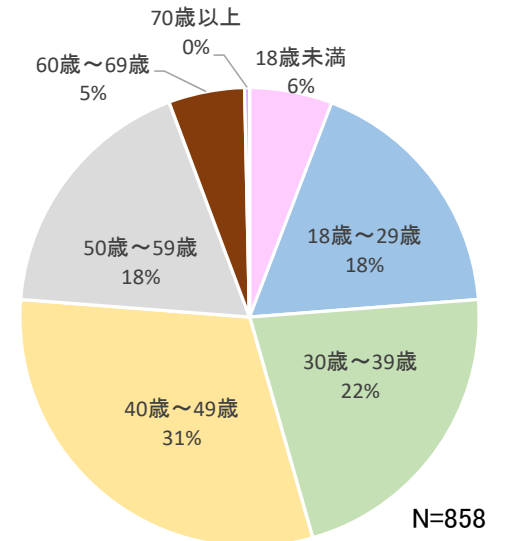
【居住地】



【アンケートカード】



【年齢構成】



■ 実際の利用手段と選択理由

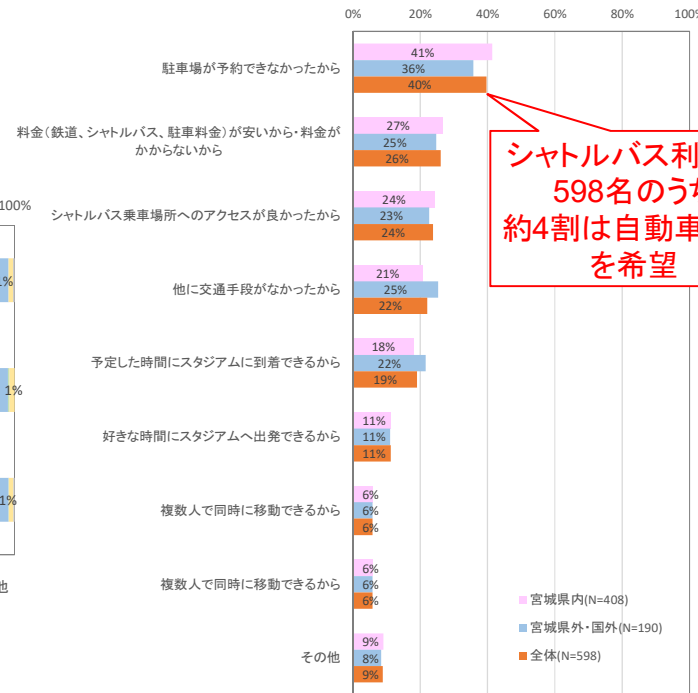
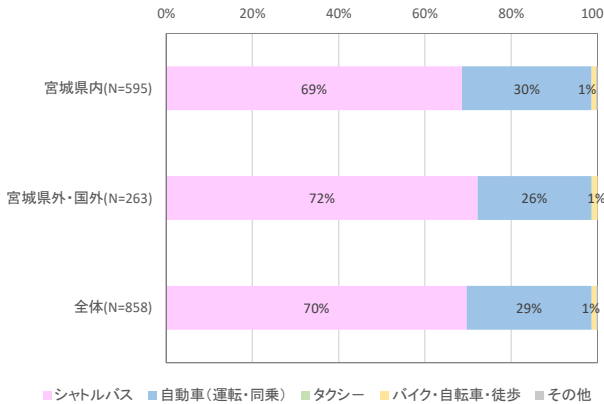
- ・宮城県内・県外の居住者いずれもシャトルバス利用が約7割と多い。そのうちの約4割は自動車利用希望者であったが、駐車場の予約が出来なかったためシャトルバスを利用。
- ・自動車利用の理由として「好きな時間にスタジアムへ出発できるから」や「複数人で同時に移動できるから」などが多く挙げられている。

キリンチャレンジカップ時の交通手段

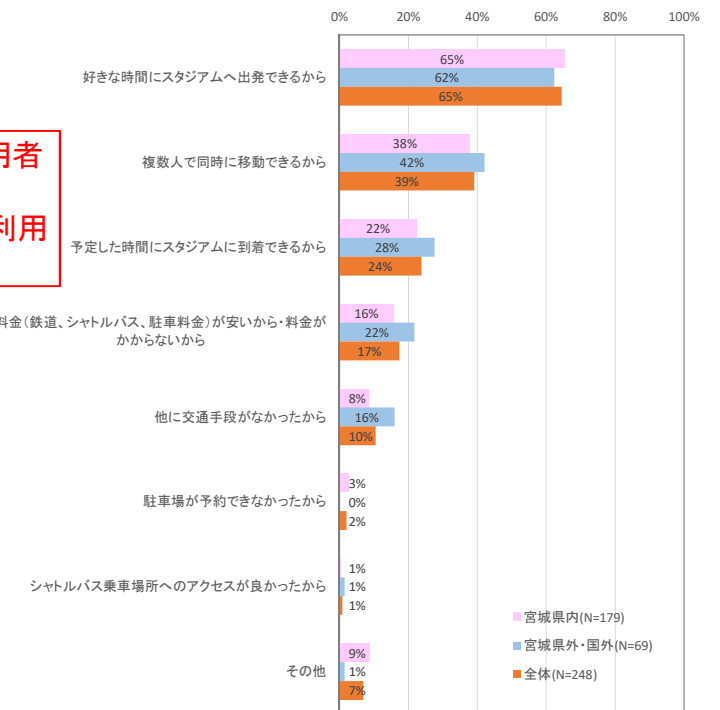
【利用交通選択理由(シャトルバス)】

【利用交通選択理由(自動車(運転・同乗))】

【居住地別利用交通手段】



シャトルバス利用者
598名のうち
約4割は自動車利用
を希望



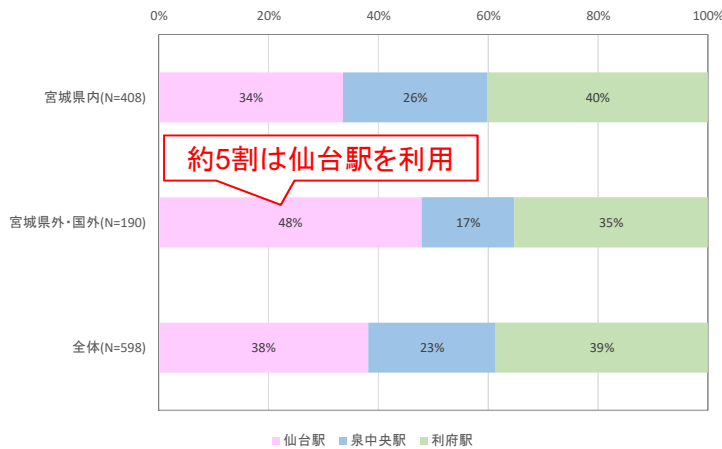
※複数回答

※複数回答

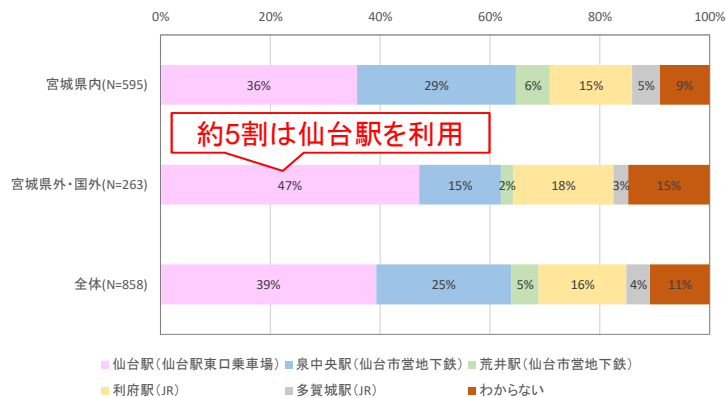
■ シャトルバス利用駅の転換の可能性①

- ・宮城県外・国外のシャトルバス利用者は、キリンチャレンジカップ2019、東京オリンピックともに仙台駅利用割合が高い。
- ・これは、仙台駅が、シャトルバス乗車場所(駅)へのアクセスが良く、乗り換え回数が少なくてすむからと考えられる。
- ・混雑する仙台市市街地部を通過するシャトルバスの利用者を低減させるため、仙台駅へ集中する来場者を分散させるための検討が必要である。

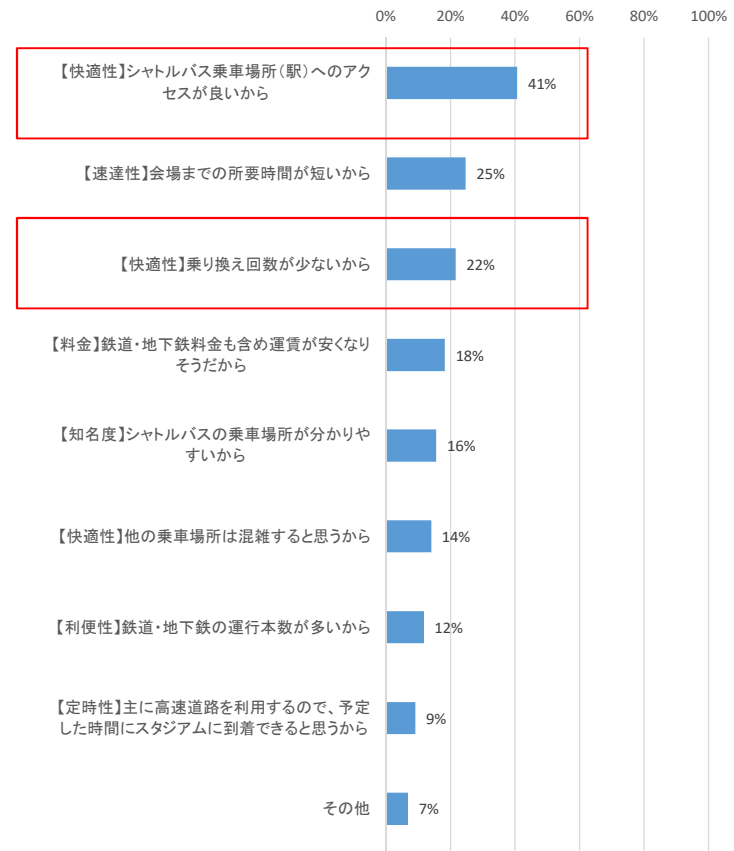
【居住地別利用駅割合(キリンチャレンジカップ2019)】



【居住地別利用駅割合(東京オリンピック開催時)】



【宮城県外・国外居住者のシャトルバス乗車駅選択理由(東京オリンピック開催時)】



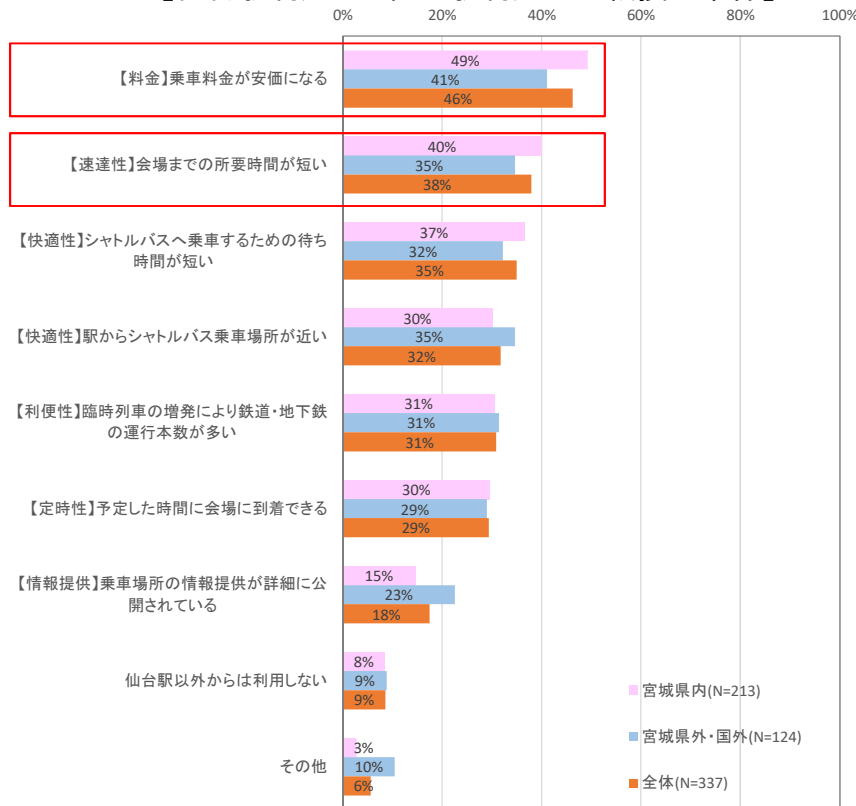
N=263

※複数回答

■ シャトルバス利用駅の転換の可能性②

- ・東京オリンピック開催時に仙台駅からシャトルバスを利用すると回答した方も、シャトルバス等の料金割引や移動時間の短縮等が図られれば、仙台駅以外の駅からシャトルバスを利用する可能性がある。
- ・荒井駅経由の場合、仙台駅から大会会場までの所要時間は約45分と利府駅に次いで短く、また、仙台市営地下鉄東西線の運行間隔は10分(利府は約30分間隔)と短い。更に、シャトルバスは主に高速道路を利用することから定時性も確保されるため、仙台駅から転換の可能性があると考えられる。

【仙台駅利用から他の駅利用への転換の条件】



【仙台駅から大会会場までの所要時間と料金】



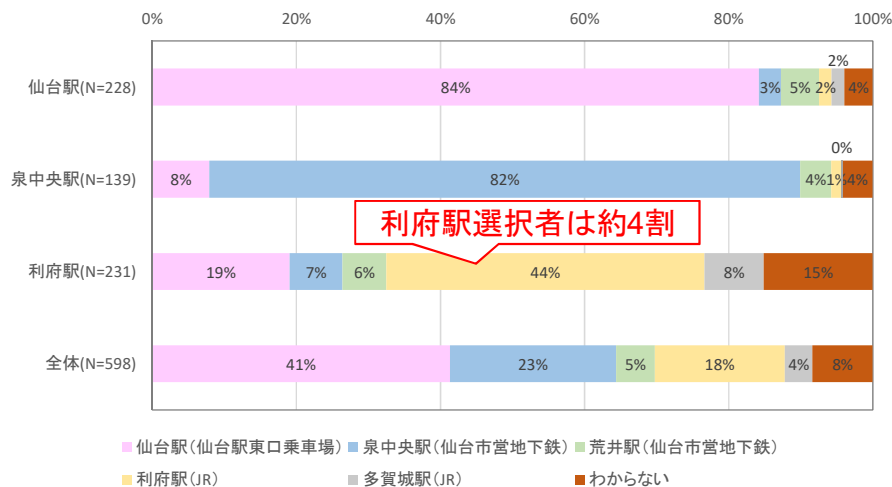
- 歩行者アイコン: 徒歩
- 地下鉄(南北線)アイコン: 地下鉄(南北線)
- 地下鉄(東西線)アイコン: 地下鉄(東西線)
- JR(東北本線)アイコン: JR(東北本線)
- JR(仙石線)アイコン: JR(仙石線)
- シャトルバス(主に高速道路利用)アイコン: シャトルバス(主に高速道路利用)
- シャトルバス(主に一般道路利用)アイコン: シャトルバス(主に一般道路利用)

※所要時間は通常時の概ねの時間
 ※[]内の数字は土曜日・休日の鉄道・地下鉄の概ねの運行頻度
 ※令和元年5月現在の時刻表、料金表を基に作成しており、臨時列車等は含んでいない
 ※シャトルバス料金はキリンチャレンジカップ時の大人片道料金。設定がなかったルートは「—」と表記。

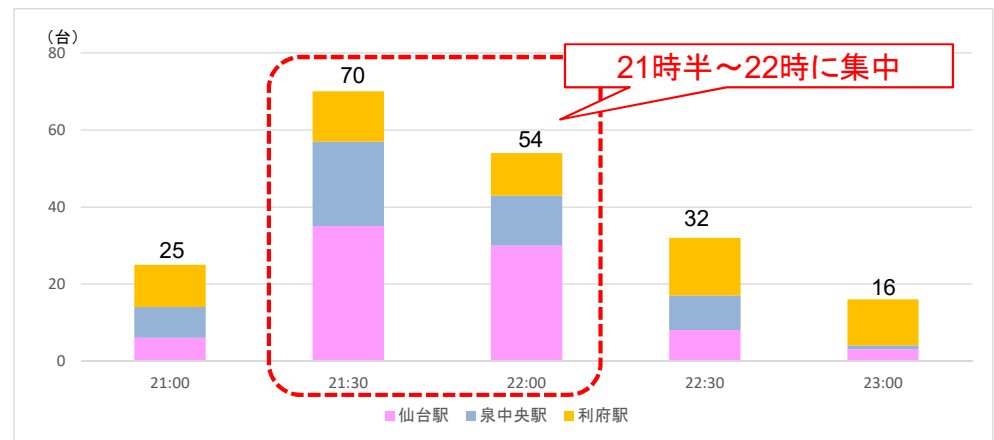
■ シャトルバスの利用促進に向けて

- ・キリンチャレンジカップ2019で仙台駅、泉中央駅を利用した8割以上の方は、オリンピック開催時も同駅利用を予定しているが、利府駅利用者のうち同駅を選択した方は約4割。「わからない」も約2割となっている。
 - ・これは、キリンチャレンジカップ2019時に、利府駅は、仙台駅、泉中央駅に比べシャトルバスの乗車人員が多く、特に16時半～17時半にかけ利用者が集中し、乗車に時間がかかったためと考えられる。
 - ・試合終了時は、21時半～22時にかけ利用者が集中し、乗車までの待ち時間の長さやシャトルバス乗り場への誘導等において、誘導員の対応の悪さや会場周辺の渋滞などが指摘されている。
- ⇒関係機関による各種対策の検討が必要

【キリンチャレンジカップ2019時にシャトルバスで来場した方が東京オリンピック時にどこからシャトルバスを利用するか】



【キリンチャレンジカップ2019時の駅別時間帯別シャトルバス運行延べ台数(復路)】



【キリンチャレンジカップ開催時のJR利府駅のシャトルバス乗車状況】



撮影日: 2019.6.9

【自由意見より】

- 待ち時間を減らすため、シャトルバスを増便してはどうか。
- 来場時のシャトルバス乗車駅、バス停を増加してはどうか。
- 駅での混雑を解消するため、JR・地下鉄を増便してはどうか。

【自由意見より】

- 帰宅時のシャトルバスに乗るまでの待ち時間が長い。
- シャトルバス乗車場所が分からない。
- シャトルバス乗り場への誘導員、駐車場の誘導員等の対応が悪い。
- 帰宅時の会場周辺の交通渋滞がひどい。
- シャトルバスを利用しても、自家用車や送迎車と輻輳し、渋滞に巻き込まれる。
- 路上駐車等により渋滞が発生している。
- シャトルバスの専用レーンを設置してはどうか。
- マイカー(送迎車を含む)の乗り入れを規制してはどうか。
- 会場周辺の路上駐車を取り締まり等を強化してはどうか。

■ 主な自由意見

- ・自由意見を分類し、課題・要望、対策案を整理。
- ・「自家用車・路上駐車による交通渋滞」、「シャトルバスの待ち時間」、「案内・誘導」に関する課題が多く挙がっている。

分類	主な意見【課題・要望】	分類	主な意見【対策案】
交通渋滞 (約12%)	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車や送迎車と輻輳し、渋滞に巻き込まれる。 ・路上駐車等により渋滞が発生している。 	交通規制 (約10%)	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルバスの専用レーンを設置してはどうか。 ・マイカー(送迎車を含む)の乗り入れを規制してはどうか。
駐車場の渋滞 (約11%)	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の出口が少なく、駐車場から出るまで、時間がかかりすぎる。 ・無理な割り込みも発生し危険。 	パークアンドライドの実施 (約5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣に臨時的な駐車場等を増やし、そこからシャトルバスを運行させてはどうか。
シャトルバスへの乗車待ち (約9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅時のシャトルバスに乗るまでの待ち時間が長い(1時間以上)。 	シャトルバスの増便 (約7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間を減らすため、シャトルバスを増便してはどうか。
スタッフ等の対応 (約8%)	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の誘導員等の人数が少ない。 	シャトルバス乗車場所の増設 (約8%)	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルバスの乗車駅を増加してはどうか。 ・シャトルバスに乗車する場所(バス停)を増加してはどうか。
情報不足 (約12%)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場までの案内板、会場内での誘導案内板等が少ない。 ・外国語での案内がない。 	鉄道・地下鉄の増便等 (約6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅での混雑を解消するため、JR・地下鉄を増便してはどうか。 ・終電時間を遅くしてはどうか。
		多言語での案内板等の設置 (約2%)	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語でのシャトルバス乗降場への案内板等が必要ではないか。

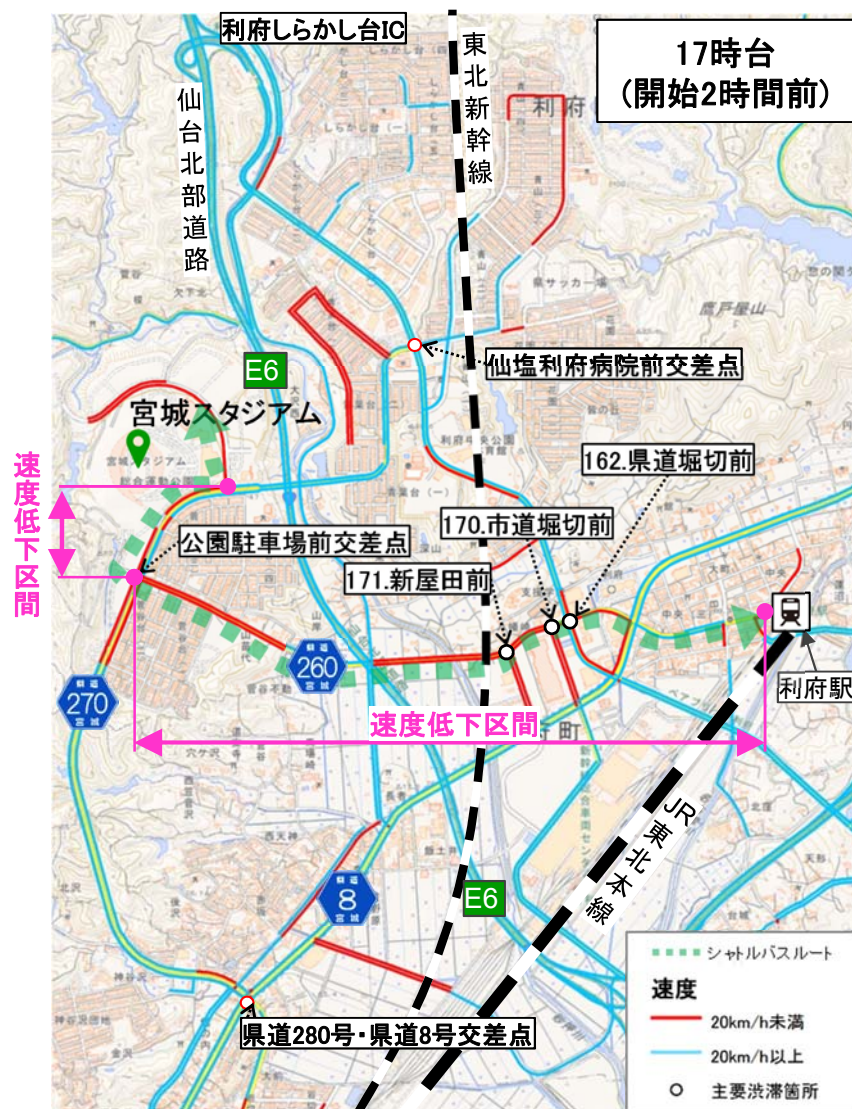
※表()内の割合は、回答者全体に対する意見数

- : 自家用車・路上駐車による交通渋滞
- : シャトルバスに関する意見
- : 案内・誘導に関する意見

■試合開始前の速度状況

- ・宮城スタジアム周辺～利府駅を繋ぐ県道260号線を中心に速度が低下(20km/h以下)している。
- ・開始1時間前よりも2時間前の方が速度低下区間が広がっている。

▼イベント会場周辺の速度状況(開始前)

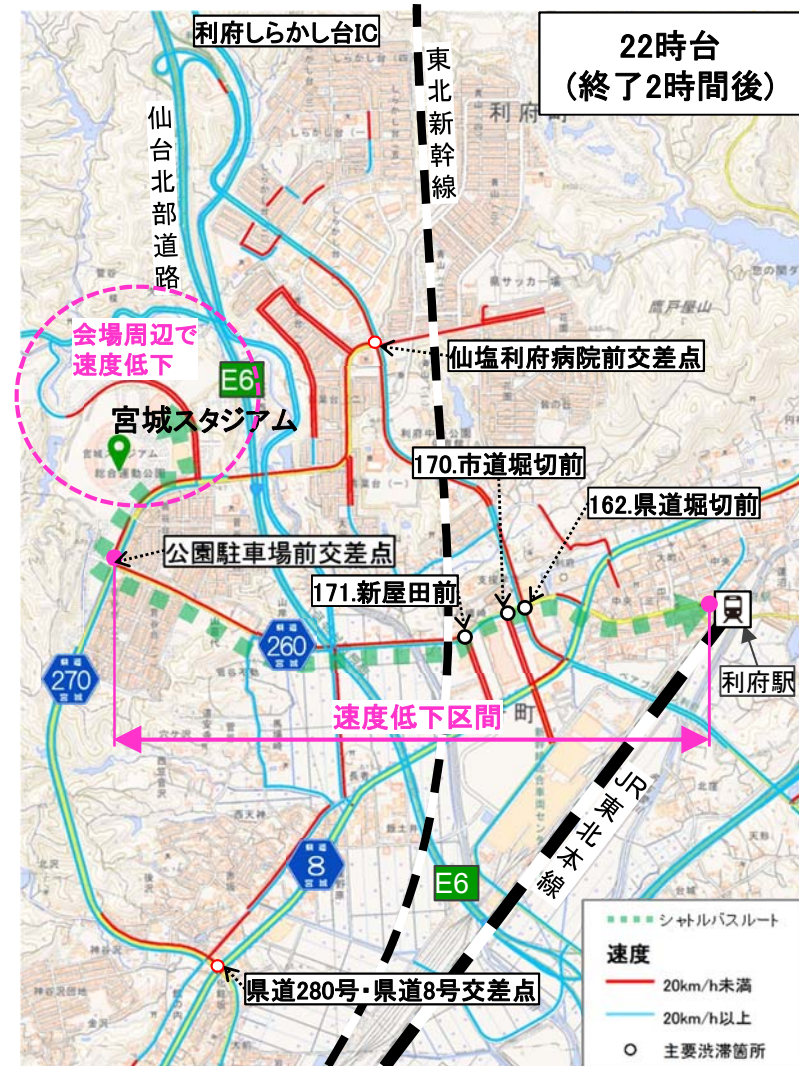
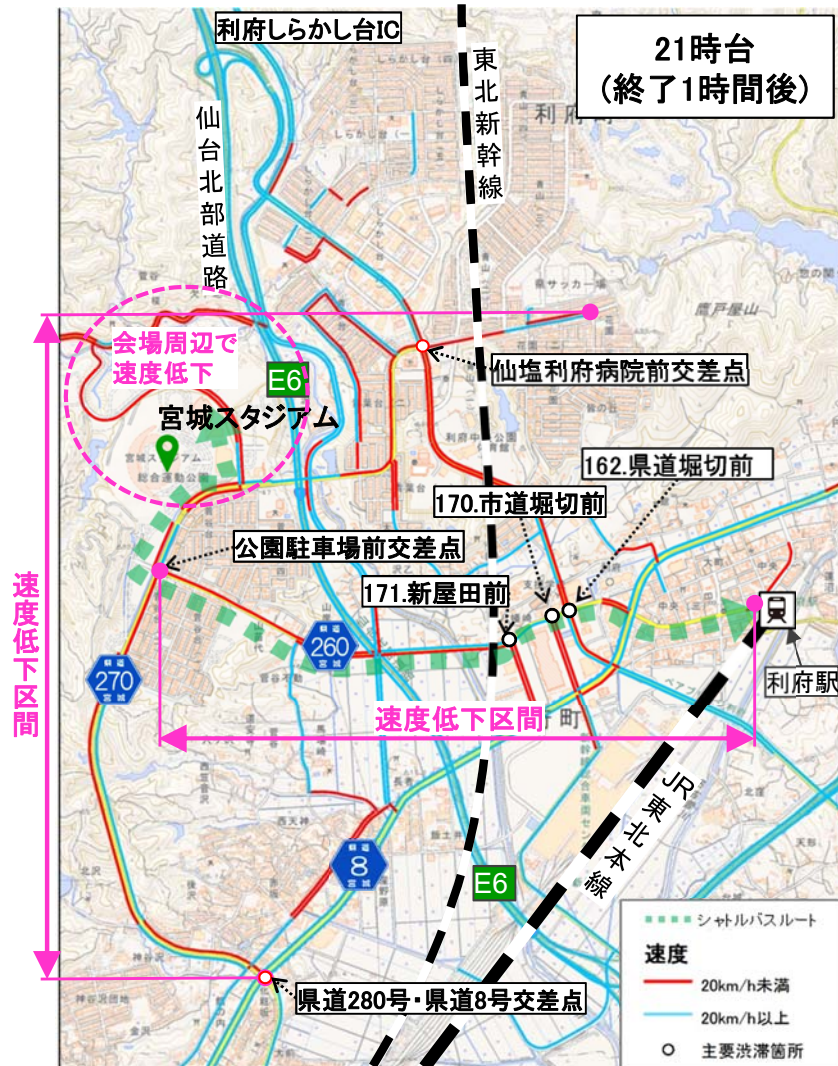


出典:ETC2.0プローブデータ、分析期間:2019年6月9日

■ 試合終了後の速度状況

- ・宮城スタジアム周辺～利府駅を繋ぐ県道260号線を中心に速度が低下(20km/h以下)している。
- ・終了1時間後にスタジアム前面の県道270号線で速度低下区間が広がっている。
- ・宮城スタジアム周辺の道路に速度低下(20km/h以下)がみられ、2時間後も継続して速度低下。

▼ イベント会場周辺の速度状況(終了後)

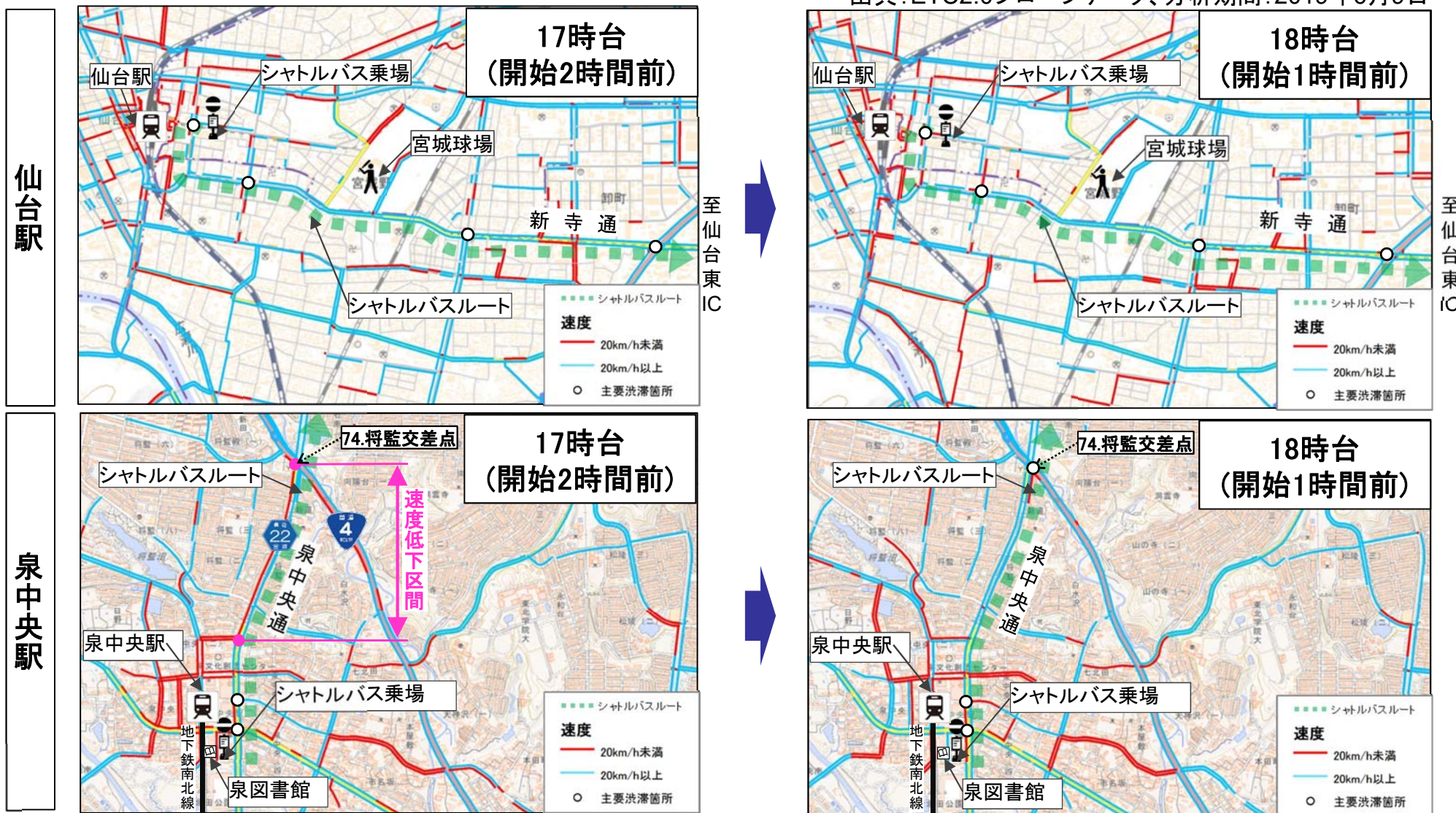


■主要駅のシャトルバスルート上の混雑状況(試合開始前)

- ・仙台駅周辺では、シャトルバスルート上での速度低下は見られない。
- ・泉中央駅周辺では、17時台に将監交差点まで速度低下が発生。

▼イベント会場周辺の速度状況(開始前)

出典:ETC2.0プローブデータ、分析期間:2019年6月9日

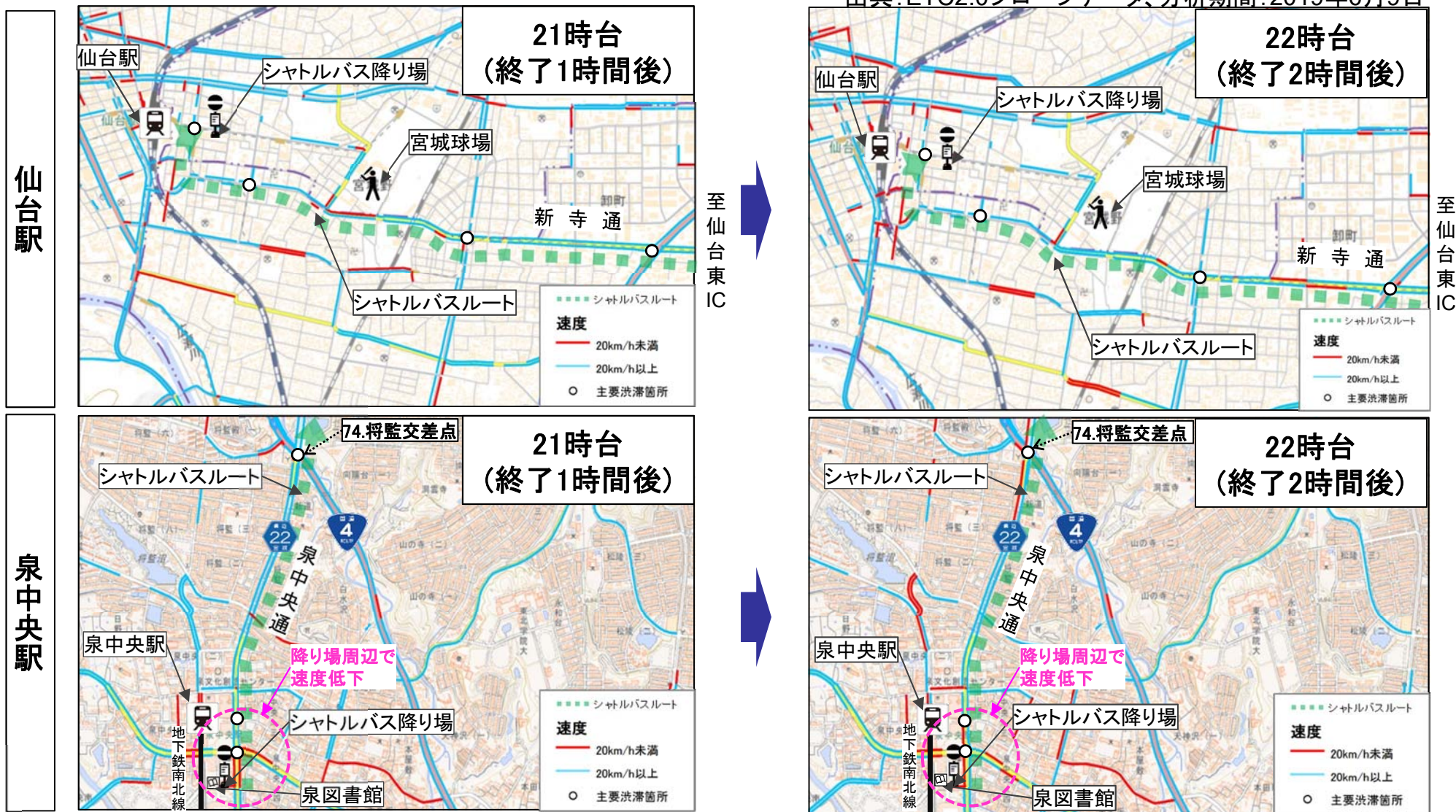


■主要駅のシャトルバスルート上の混雑状況(試合終了後)

- ・仙台駅周辺では、シャトルバスルート上での速度低下は見られない。
- ・泉中央駅周辺では、シャトルバス降り場周辺で速度低下が見られる。

▼イベント会場周辺の速度状況(終了後)

出典:ETC2.0プローブデータ、分析期間:2019年6月9日



- 仙台駅からのシャトルバスは、仙台東IC～利府しらかし台IC間は高速道路を利用したため、所要時間の遅れは無かった。
- ただし、オリンピック時は複数の高速道路利用シャトルバスが集中し、利府しらかし台IC～宮城スタジアム間で混雑が想定される。
- 会場周辺において、送迎車両の店舗駐車場への進入待ちや路上駐車によって渋滞が発生した。
- 利府駅前のシャトルバスの転回場が小さいため、別な箇所にもバスの待機場所確保が必要である。
- 利府シャトルバス復路乗り場が案内不足や係員の誤案内等により混乱があったため、わかりやすい案内が今後必要である。
- バス専用レーンなどがあれば、より円滑な運行が可能である。

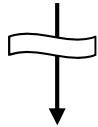
3. 渋滞対策について

3. 1 主要渋滞箇所^①の現状(一般道、高速道路)

一般道

- 一般道の主要渋滞箇所は当初251箇所設定され、平成30年度までに14箇所が解除され、令和元年7月時点で237箇所となっている。
- 平成30年度までの実施事業等により、今回の解除候補は9箇所。
- 令和元年度以降も下記に示すような事業が推進され、モニタリングを実施。

平成24年度



平成30年度

令和元年度

251箇所

解除14箇所

残237箇所

R1.7時点

<主な実施事業>

供用年月	事業	事業主体
H30.4	国道286号(鹿野)交差点改良	仙台市
H30.8	国道4号 金ヶ瀬拡幅 (蔵王町宮地内)	仙台河川国道事務所
H30.11	国道398号 石巻バイパスⅡ期(大瓜工区)	宮城県
H30.12	みやぎ県北高速幹線道路 (中田工区)	宮城県
H31.2	三陸沿岸道路 歌津本吉道路開通 (歌津IC~本吉IC)	仙台河川国道事務所
H31.2	三陸沿岸道路 本吉気仙沼道路(Ⅱ期) (本吉津谷IC~大谷海岸IC)	仙台河川国道事務所
H31.3	三陸沿岸道路 唐桑高田道路 (唐桑小原木IC~陸前高田IC)	仙台河川国道事務所

解除9箇所 (予定)

残228箇所(予定)

<主な実施事業:令和元年度完了予定>

供用年月	事業	事業主体
R1.6	みやぎ県北高速幹線道路 (築館工区)	宮城県
R1.6	(都)宮沢根白石線(浦田工区)	仙台市
R1.6	仙台名取線(長町)道路改良(広瀬橋交差点)	仙台市
R1.10	東部復興道路	仙台市

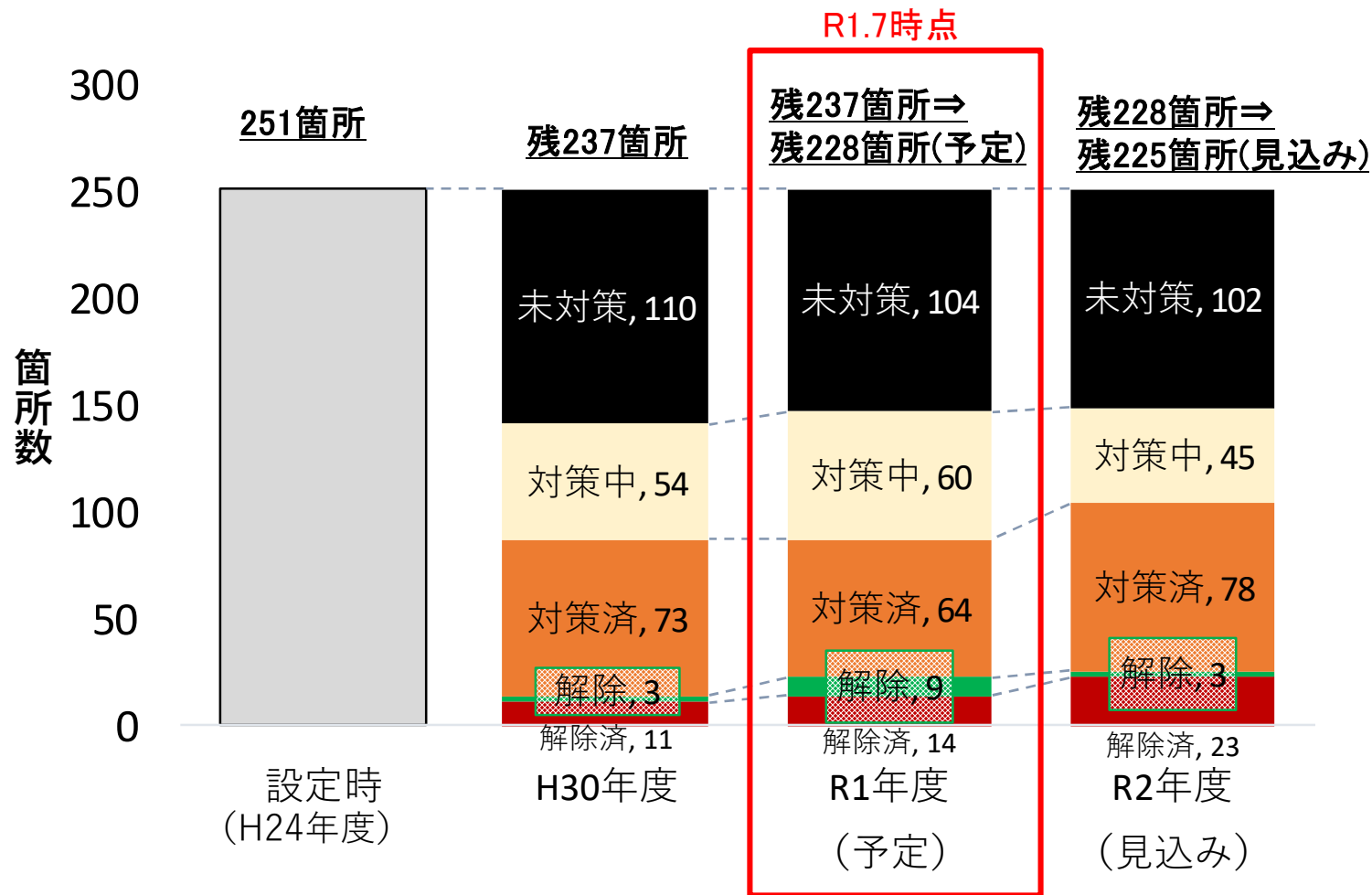
<主な実施事業:令和元年度以降の継続事業>

供用年月	事業	事業主体
継続	常磐道(山元IC~岩沼IC)4車線化	ネクスコ東日本
継続	国道4号 仙台拡幅	仙台河川国道事務所
継続	国道4号 大衡道路	仙台河川国道事務所
継続	国道108号 古川東バイパス	仙台河川国道事務所
継続	みやぎ県北高速幹線道路 (佐沼工区)	宮城県
継続	宮沢根白石線(南鍛冶町工区)	仙台市

一般道

- 令和元年7月時点では、残237箇所のうち131箇所(対策済64箇所、対策中60箇所、解除候補のうち6箇所対策済、1箇所対策中)で対策を実施。
- 一方で、未対策箇所が104箇所と残存し、さらなる渋滞対策の推進が望まれる。

▼主要渋滞箇所(一般道)の対策実施状況の推移 (R1.7時点)



高速道路

■ 高速道路の主要渋滞箇所は当初18箇所設定され、仙塩道路をはじめ、仙台松島道路、矢本石巻道路の4車線化等により、これまで12箇所解除され、令和元年7月時点で6箇所。

平成24年度

18箇所

<主な実施事業>

- H24.7 : 仙台松島道路(利府中IC～松島海岸IC)
- H26.3 : 仙台松島道路(松島海岸IC～松島北IC)
- H27.3 : 仙台松島道路(松島北IC～鳴瀬奥松島IC)
- H27.10: 矢本石巻道路(鳴瀬奥松島IC～石巻女川IC)
- H28.3 : 仙塩道路(仙台港北IC～利府中IC)
- H29.3 : 矢本石巻道路(石巻女川IC～桃生豊里IC)

- 4車線化
- 4車線化
- 4車線化
- 4車線化
- 4車線化
- 4車線化

平成30年度まで

解除12箇所

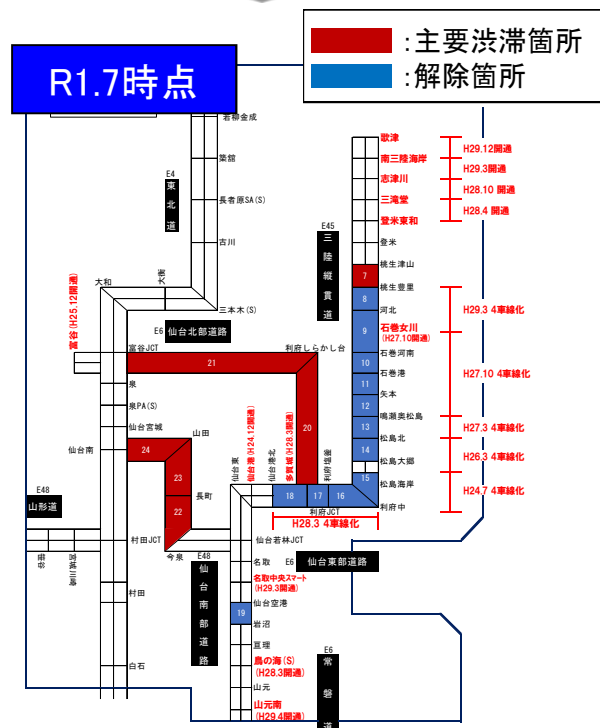
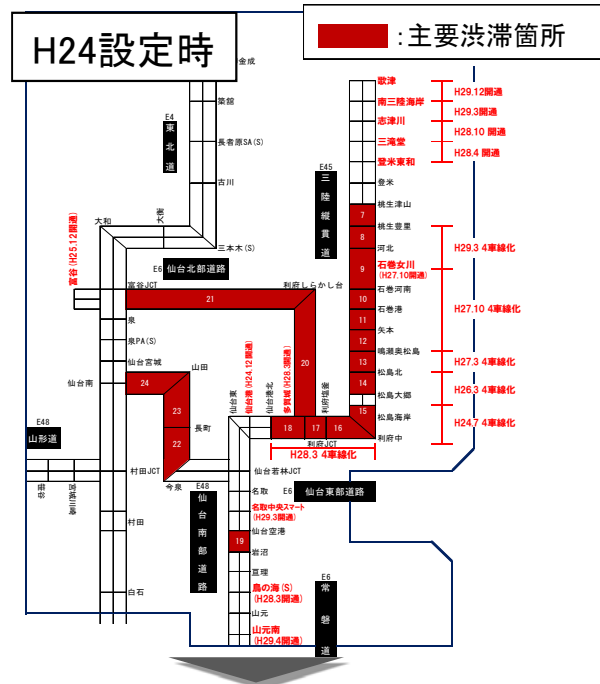
残6箇所

R1.7時点

令和元年度

解除なし(予定)

残6箇所(予定)



3. 2 主要渋滞箇所の解除について(一般道)

■H30モニタリングにおいて渋滞が緩和した交差点を判定し、9箇所が主要渋滞箇所からの解除候補となる。

⇒いずれの箇所も、渋滞緩和要因が明確、
または2年連続で渋滞が緩和(特定要件を満たさなかった場合)。

▼渋滞が緩和もしくは渋滞箇所ではないと判断した交差点(計9箇所)の渋滞緩和要因

主要渋滞箇所名	渋滞が緩和した要因	解除候補	
		対策実施により渋滞が緩和	渋滞緩和が2年間継続
国道4号:名取大橋南	(都)中田北線の交差点改良に伴う、中央分離帯の設置、交差点位置の移設により、国道4号の渋滞が緩和した。	○	
国道6号:鷺足	山元南スマートIC供用により、国道6号利用車両が常磐自動車道に転換し、国道6号等の渋滞が緩和した。	○	
国道45号: 最知駅入口	本吉気仙沼道路供用(大谷海岸IC~気仙沼中央IC)により、現道利用車両が本吉気仙沼道路に転換し、国道45号の渋滞が緩和した。	○	
国道45号: 岩月星谷	本吉気仙沼道路供用(大谷海岸IC~気仙沼中央IC)により、現道利用車両が本吉気仙沼道路に転換し、国道45号の渋滞が緩和した。	○	
国道4号:末広	常磐自動車道・東部道路への車両転換による速度向上と推察。		○
国道4号:西船迫1丁目	常磐自動車道への車両転換による速度向上と推察。		○
国道45号:中野栄駅前	塩釜亘理線と国道45号と接続等による交通分散に伴う速度向上と推察。		○
大衡仙台線: 泉パークタウン入口	(県)大衡仙台線小野工区の供用等による左折交通量の減少に伴う交通の整流化、速度向上と推察。		○
仙台塩釜線:大代山崎	復興事業が落ち着いたことによる車両減少、速度向上と推察。		○

- 名取大橋南交差点では交差点改良により、**仙台方面から名取方面への速度が向上。**
- 鷲足交差点では山元南スマートIC供用により、**休日両方向(国道6号、町道)の速度が向上。**
- 最知駅入口、岩月星谷交差点は、本吉気仙沼道路(大谷海岸IC～気仙沼中央IC)の供用により、**国道45号の速度が向上。**

▼事業実施により渋滞が緩和した交差点における効果検証結果

No	主要渋滞箇所名	抽出条件	事業名	供用日	整備概要	事業主体	効果検証結果
1	国道4号 名取大橋南	休日速度低下 ※パブコメ	(都)中田 北線交差点改良	H29.10	中央分離帯設置、交差点改良・移設	仙台市 仙台河国	国道4号の速度が向上 (H24: 15.1km/h⇒H30: 23.4km/h) +8.3km/h
2	国道6号 鷲足	休日速度低下 ※パブコメ	山元南スマートIC	H29.4	山元南スマートIC供用	ネクスコ 東日本	国道6号、町道の速度が向上 国道6号 (H24: 15.5km/h⇒H30: 32.4km/h) +16.9km/h 町道 (H24: 4.8km/h⇒H30: 24.8km/h) +20.0km/h
3	国道45号 最知駅入口	平日速度低下 ※パブコメ	本吉気仙沼道路	H30.3	大谷海岸IC～ 気仙沼中央IC 供用	仙台河国	国道45号の速度が向上 (H24: 14.6km/h⇒H30: 25.7km/h) +11.1km/h
4	国道45号 岩月星谷						国道45号の速度が向上 (H24: 14.6km/h⇒H30: 25.7km/h) +11.1km/h

【国道4号 名取大橋南交差点】

- (都)中田北線の供用に伴う交差点改良、中央分離帯設置による名取大橋南交差点の閉鎖を実施。
- 交差点閉鎖による交通の整流化が図られ渋滞が緩和した。
- 名取大橋南交差点の仙台方面から名取方面の速度が、15.1km/h(H24)⇒23.4km/h(H30)に向上。

主要渋滞箇所名	事業名	供用日	整備概要	事業主体
名取大橋南	(都)中田北線交差点改良	H29.10	中央分離帯設置、交差点改良・移設	仙台市、仙台河国



凡例
 <主要渋滞箇所>
 ●: 箇所
 ■: 区間
 <モニタリング方向>
 ←: 平日
 ⇐: 休日

▼旅行速度の変化

名取大橋南交差点: 北方向(国道)
 H24: 15.1km/h ⇒ H30: 23.4km (+8.3km/h)

出典: 民間プローブデータH24.4~9月、ETC2.0プローブデータH30.4~9月

(都)中田北線交差点改良



出典: 仙台市HPより

▼名取大橋南交差点 交差点形状の変更

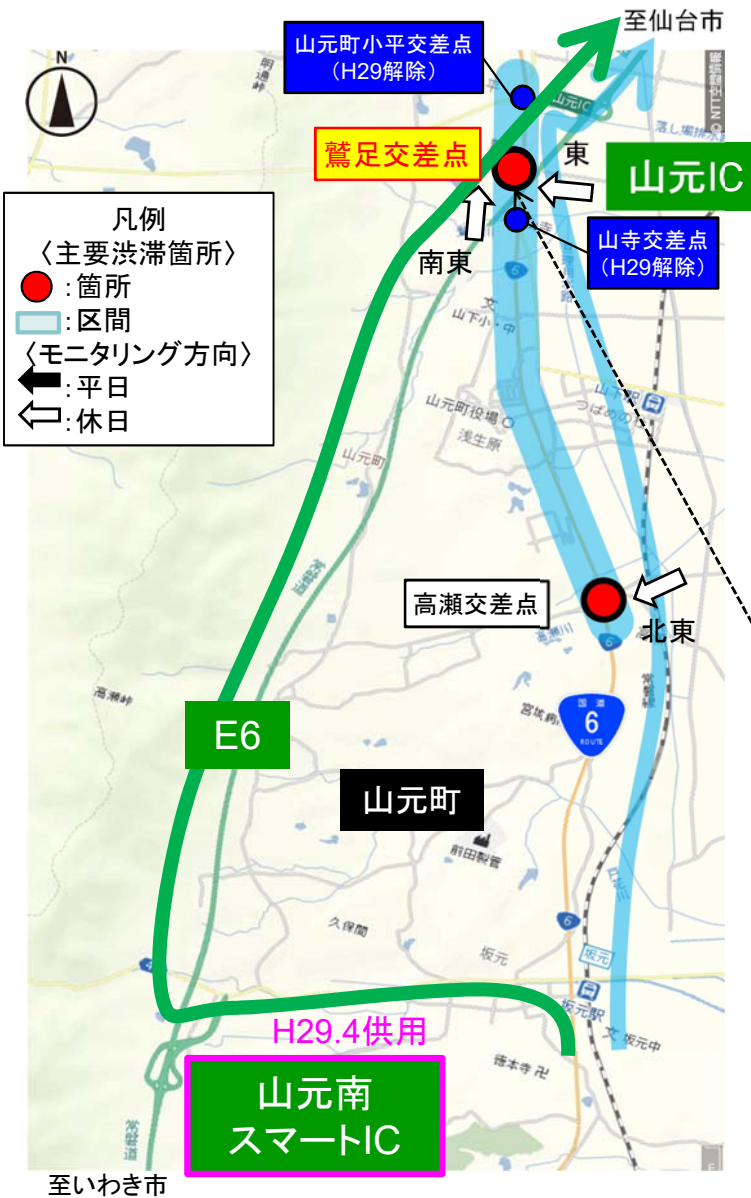


供用日: H29.10 種類: 交差点改良
 延長: 国道4号交差点を含む約700m
 幅員: 16m(2車線)
 ※中央分離帯の設置による堤防道路との交差点を閉鎖 および
 交差点位置の移設

【国道6号 鷲足交差点】

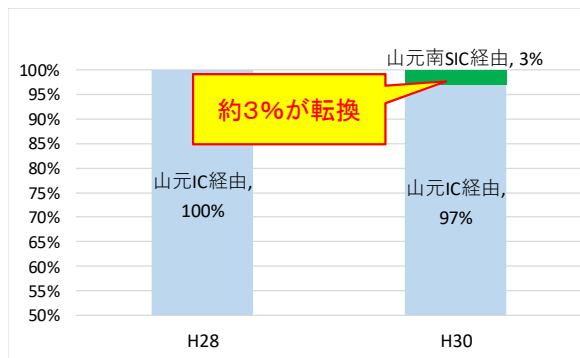
■常磐自動車道山元南スマートICの供用により、国道6号利用車両が常磐自動車道に転換し、国道6号の交通量が減少し、国道6号の速度が向上、渋滞が緩和された。

■国道6号の速度が15.5km/h(H24)⇒32.4km/h(H30)に、町道の速度が4.8km/h(H24)⇒24.8km/h(H30)に向上。

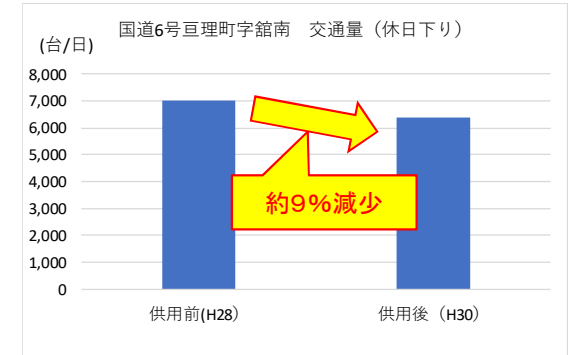


主要渋滞箇所名	事業名	供用日	整備概要	事業主体
鷲足	山元南スマートIC	H29.4	スマートIC供用	ネクスコ東日本

▼山元南スマートIC供用前後の利用経路



▼国道6号の交通量推移(巨理町)



▼旅行速度の変化

国道6号 南東方向 H24: 15.5km/h ⇒ H30: 32.4km/h (+16.9km/h)
 町道 東方向 H24: 4.8km/h ⇒ H30: 24.8km/h (+20.0km/h)

【山元南スマートIC】



供用日: H29. 4
 種類: スマートIC新設
 位置: 常磐道新地~山元IC間
 役割: 常磐道と山元町道坂元インター線を接続
 総事業費: 約23億円

出典: 山元町HPより

速度データの出典: 民間プローブデータH24.4~9月、ETC2.0プローブデータH30.4~9月

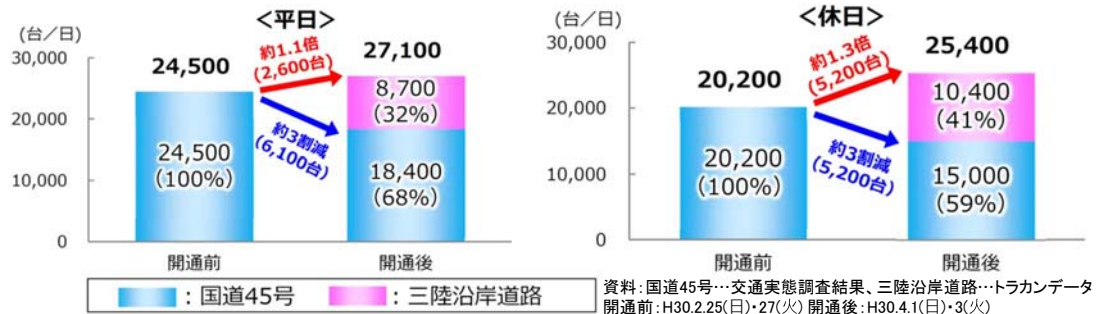
【国道45号 最知駅入口交差点・岩月星谷交差点】

- 本吉気仙沼道路(大谷海岸IC～気仙沼中央IC)の供用により、国道45号の利用車両が三陸自動車道に転換し、国道45号の交通量が減少し速度が向上した。
- 最知駅入口交差点及び岩月星谷交差点の国道45号方向の速度が、14.6km/h(H24)⇒25.7km/h(H30)に向上。 ※同じ評価区間のため速度は同値となる

主要渋滞箇所名	事業名	供用日	整備概要	事業主体
最知駅入口	本吉気仙沼道路	H30.3	大谷海岸IC～気仙沼中央IC供用	仙台海国
岩月星谷				



▼開通区間(岩井崎IC～気仙沼中央IC)の交通量の変化



▼旅行速度の変化

- 岩月星谷交差点: 南方向(国道)
H24: 14.6km/h ⇒ H30: 25.7km/h (+11.1km/h)
- 最知駅入口交差点: 南方向(国道)
H24: 14.6km/h ⇒ H30: 25.7km/h (+11.1km/h)

【本吉気仙沼道路(大谷海岸IC～気仙沼中央IC)】



- 供用日: H30.3供用
- 種類: 道路新設
- 延長: 7.1km
- 幅員: 2車線13.5m
- その他:
本吉気仙沼道路[Ⅱ期](本吉津谷IC～大谷海岸IC)がH31.2.16に供用開始

出典: 国土交通省仙台海川国道事務所HPより
速度データの出典: 民間プローブデータH24.4～9月、ETC2.0プローブデータH30.4～9月

■ 下記に示す5箇所の交差点は、渋滞緩和が2年連続であるため、解除候補として抽出。

▼ 渋滞緩和が2年連続の交差点

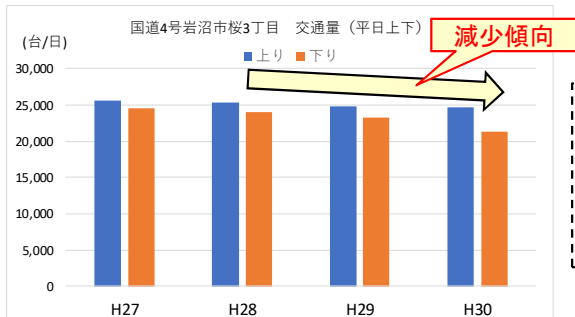
 :20km/h以下

No	主要渋滞箇所名	抽出条件	渋滞が緩和した 主な要因	速度推移							
				方向	H24	H26	H27	H28	H29	H30	向上速度
1	国道4号:末広	平日速度低下	常磐自動車道・仙台東部道路への車両転換による速度向上と推察	A	7.6	11.0	9.3	22.9	26.6	31.6	24.0
				B	12.7	15.6	15.6	14.2	22.0	22.8	10.1
2	国道4号:西船迫1丁目	平日速度低下	常磐自動車道への車両転換による速度向上と推察	A	13.4	13.7	13.0	21.1	30.8	35.9	22.5
				C	14.2	14.1	13.2	13.4	20.3	20.5	6.3
				D	4.5	4.4	4.4	13.7	23.6	25.9	21.4
3	国道45号:中野栄駅前	休日速度低下	塩釜亘理線と国道45号と接続等による交通分散に伴う速度向上と推察	A	12.1	15.8	13.5	26.7	27.6	30.5	18.4
				B	9.4	8.1	12.4	20.0	23.8	27.2	17.8
4	大衡仙台線: 泉パークタウン入口	休日速度低下 ※パブコメ	(県)大衡仙台線小野工区の供用等の交通分散に伴う速度向上と推察	C	11.1	11.7	11.4	15.7	29.0	28.6	17.5
				D	19.6	18.4	17.1	16.3	25.2	26.9	7.3
5	仙台塩釜線:大代山崎	平日速度低下	復興事業が落ち着いたことによる車両減少、速度向上と推察	A	17.0	18.4	12.0	13.3	26.0	25.2	8.2
				B	10.0	10.0	12.2	15.1	25.6	24.2	14.2
				C	12.7	11.7	12.0	12.1	20.1	21.4	8.7

【国道4号 末広交差点】



◆ 付近の国道4号の交通量推移



【速度向上の要因】
・仙台東部道路等への車両転換による速度向上と推察される

◆ 交差点流入部の最低平均速度の経年変化(H24-30)

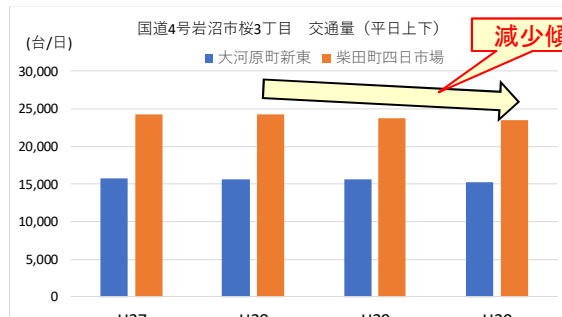
流入方向	モニタリング対象	H24	H26	H27	H28	H29	H30
A	平日	7.6	11.0	9.3	22.9	26.6	31.6
B	平日	12.7	15.6	15.6	14.2	22.0	22.8

※赤網掛け: 20km/h以下

【国道4号 西船迫1丁目交差点】



◆ 付近の国道4号の交通量推移



【速度向上の要因】
・常磐自動車道等への車両転換による速度向上と推察される

◆ 交差点流入部の最低平均速度の経年変化(H24-30)

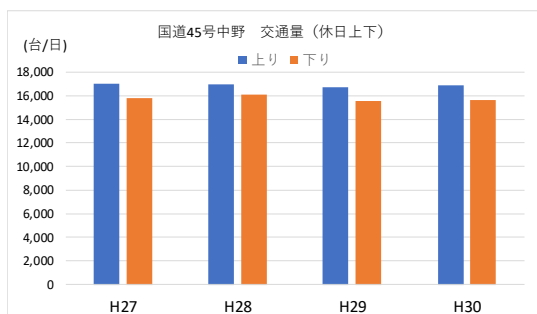
流入方向	モニタリング対象	H24	H26	H27	H28	H29	H30
A	平日	13.4	13.7	13.0	21.1	30.8	35.9
C	平日	14.2	14.1	13.2	13.4	20.3	20.5
D	平日	4.5	4.4	4.4	13.7	23.6	25.9

出典: 民間プローブデータH24~H28の各4~9月、ETC2.0プローブデータH29~H30の各4~9月

【国道45号 中野栄駅前交差点】

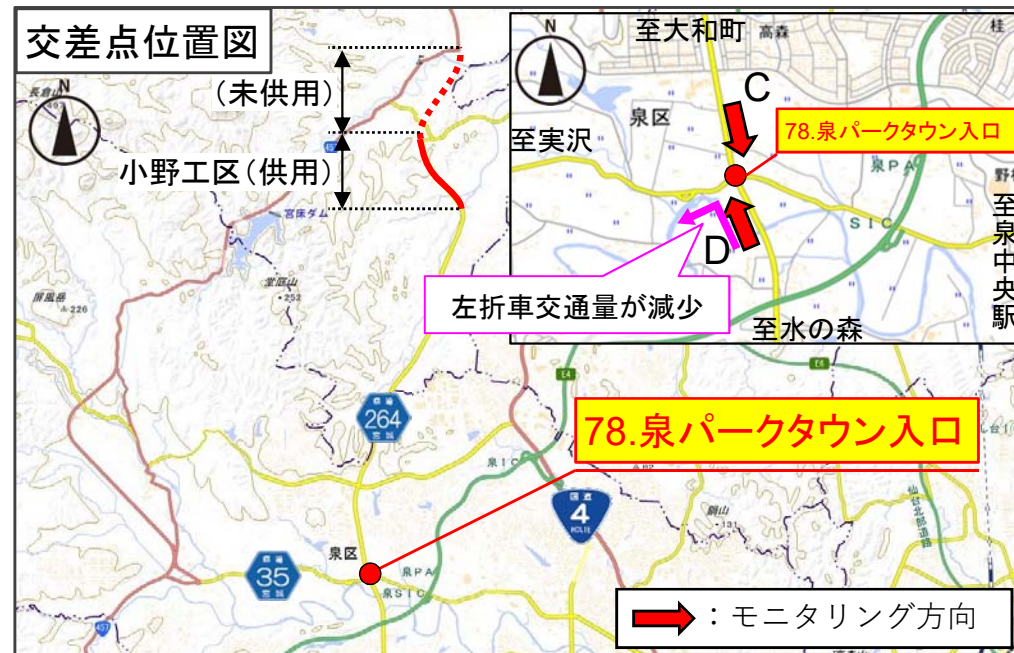


◆付近の国道45号の交通量推移

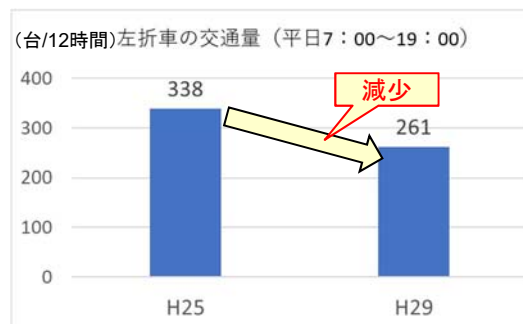


【速度向上の要因】
 ・塩釜亘理線(旧清水沢多賀城線)と国道45号と接続等による交通分散に伴う速度向上と推察される

【大衡仙台線 泉パークタウン入口交差点】



◆D方向:左折車の交通量の変化



【速度向上の要因】
 ・(県)大衡仙台線小野工区の供用等による、左折交通量の減少に伴う交通の整流化、速度向上と推察される

◆交差点流入部の最低平均速度の経年変化(H24-30)

流入方向	モニタリング対象	H24	H26	H27	H28	H29	H30
A	休日	12.1	15.8	13.5	26.7	27.6	30.5
B	休日	9.4	8.1	12.4	20.0	23.8	27.2

※赤網掛け:
20km/h以下

◆交差点流入部の最低平均速度の経年変化(H24-30)

流入方向	モニタリング対象	H24	H26	H27	H28	H29	H30
C	休日	11.1	11.7	11.4	15.7	29.0	28.6
D	休日	19.6	18.4	17.1	16.3	25.2	26.9

【仙台塩釜線 大代山崎交差点】



【速度向上の要因】

- ・復興事業が落ち着いたことによる車両減少、速度向上と推察

◆交差点流入部の最低平均速度の経年変化(H24-30)

流入方向	モニタリング対象	H24	H26	H27	H28	H29	H30
A	平日	17.0	18.4	12.0	13.3	26.0	25.2
B	平日	10.0	10.0	12.2	15.1	25.6	24.2
C	平日	12.7	11.7	12.0	12.1	20.1	21.4

※赤網掛け:20km/h以下

3. 3 主要渋滞箇所の解除について(高速道路)

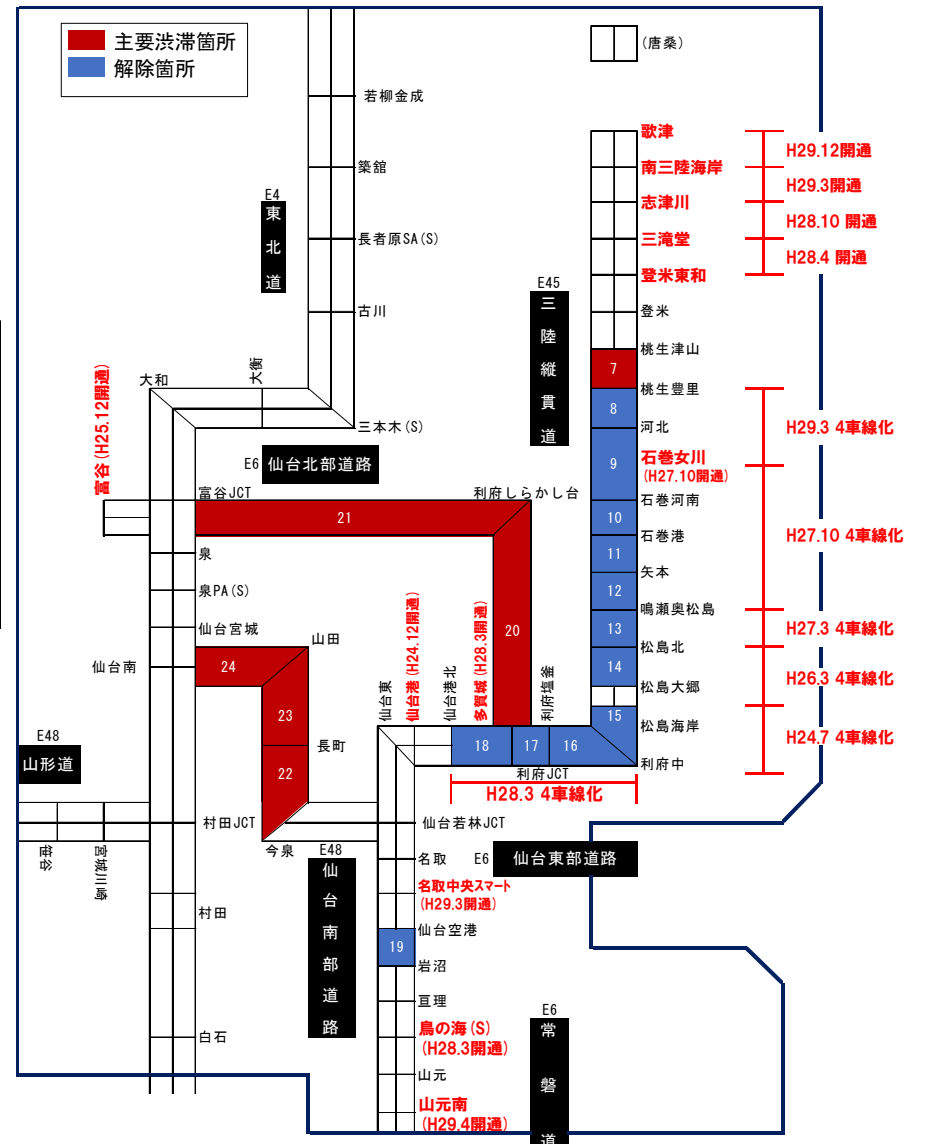
- 高速道路の主要渋滞箇所は、H24平日の混雑度1.0以上となる区間(16箇所)およびH22休日平均旅行速度5%タイル値*40km/h以下(2区間)、さらに道路管理者意見による区間(2箇所)が抽出されている。
- 平成29年度に10箇所、平成30年度に2箇所が解除され、主要渋滞箇所は残6区間となっている。

* 5%タイル値: 全体を100とした場合に
小さい方から数えて5番目の値

▼ 高速道路の主要渋滞箇所(6箇所)

高速道路主要渋滞箇所リスト

番号	路線名	区間名	H24平日混雑度	H22休日速度低	道路管理者意見選定
7	三陸縦貫自動車道	桃生津山～桃生豊里	○		
20	仙台北部道路	利府JCT～利府しらかし台			○
21	仙台北部道路	利府しらかし台～富谷JCT	○		
22	仙台南部道路	今泉～長町	○		
23	仙台南部道路	長町～山田	○		
24	仙台南部道路	山田～仙台南		○	○

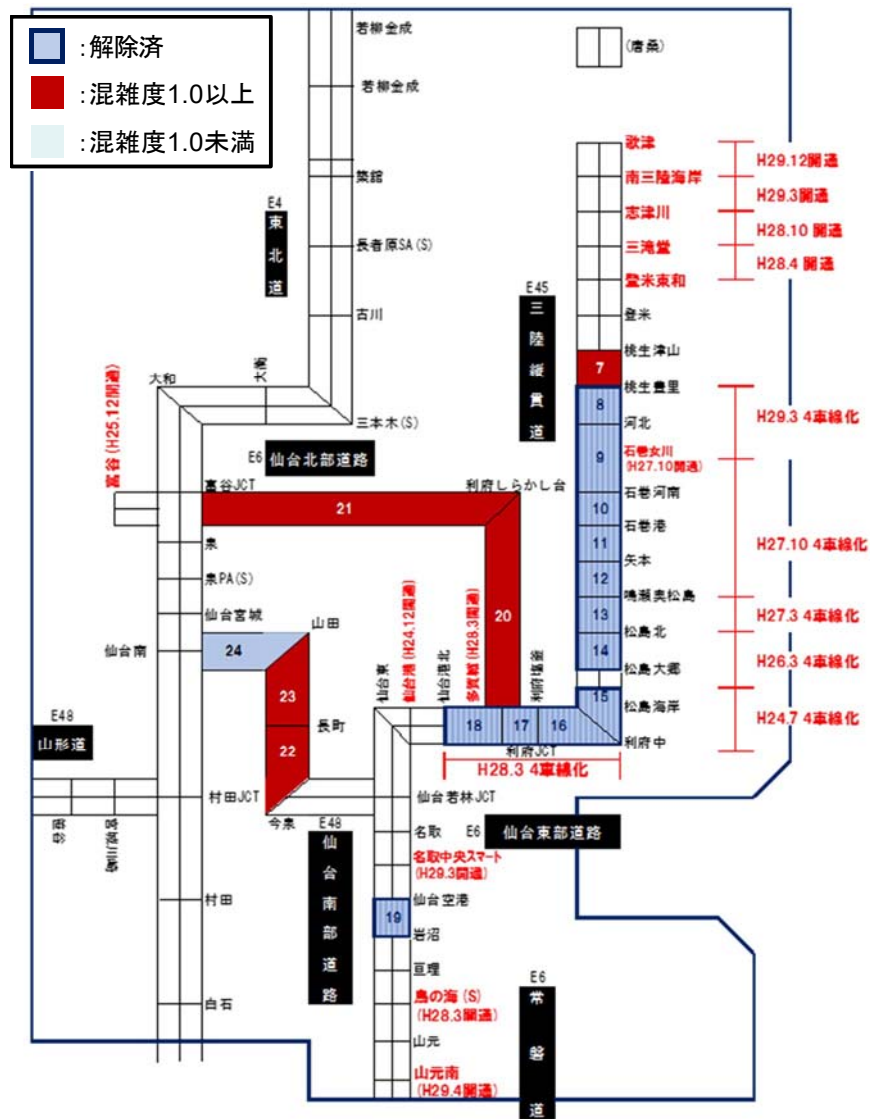


- 平日: 評価対象箇所の混雑度は、全て1.0以上で解除候補なし。
- 休日: 評価対象箇所(仙台南IC～山田IC間)の速度は40km/h超であるが、暫定2車線区間での運用、休日平均旅行速度の低下も確認しており、道路管理者意見により解除候補として見送りとする。

【混雑度(平日)】

※資料: 平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査
トラカンデータ(H30.4~7 平日平均)

※赤字: 平成24年度以降に供用済の区間

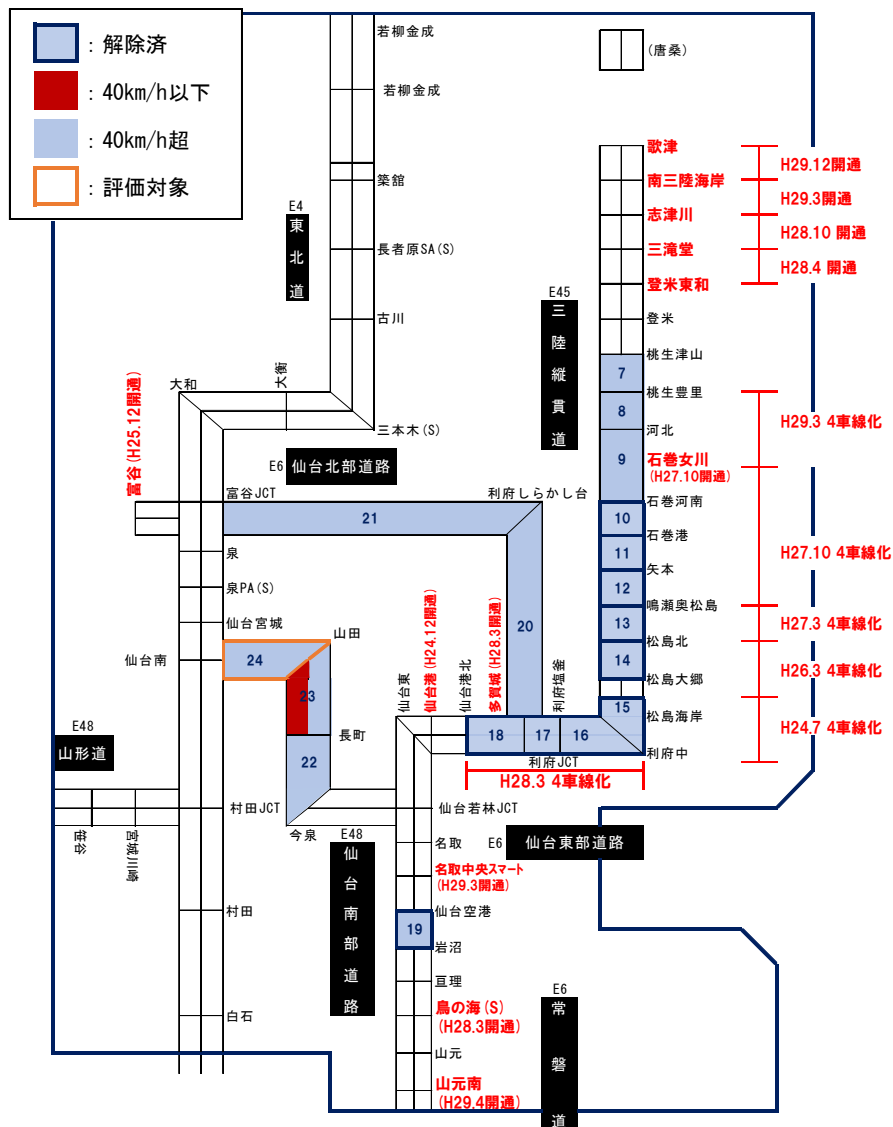


【休日平均旅行速度5%タイル値】

※資料: ETC2.0プローブデータ
(H30.4~9 休日5パーセントタイル値)

※当該指標による評価対象: No.24

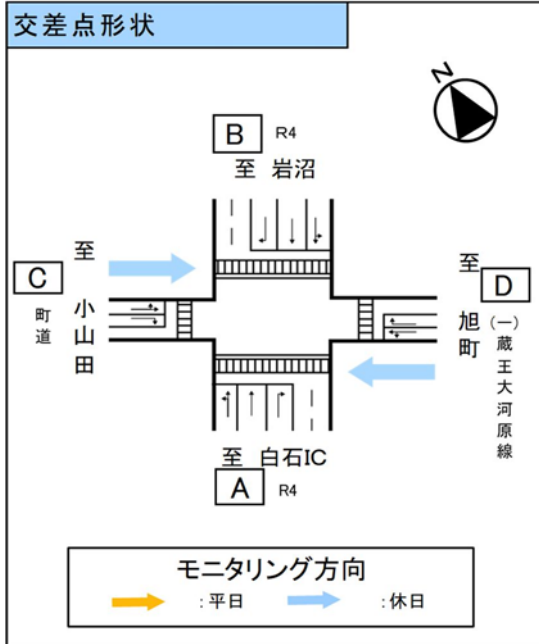
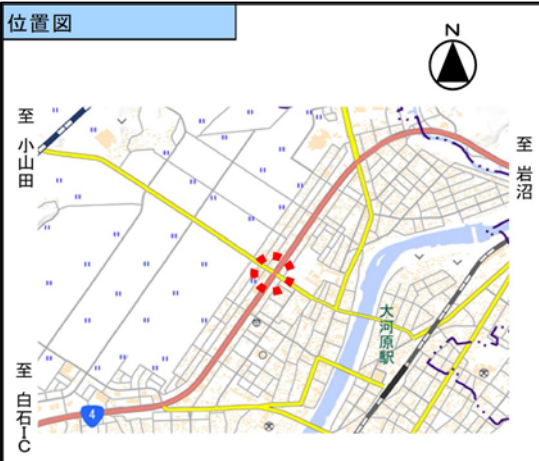
※赤字: 平成24年度以降に供用済の区間



3. 4 自治体との連携、ピンポイント渋滞対策について

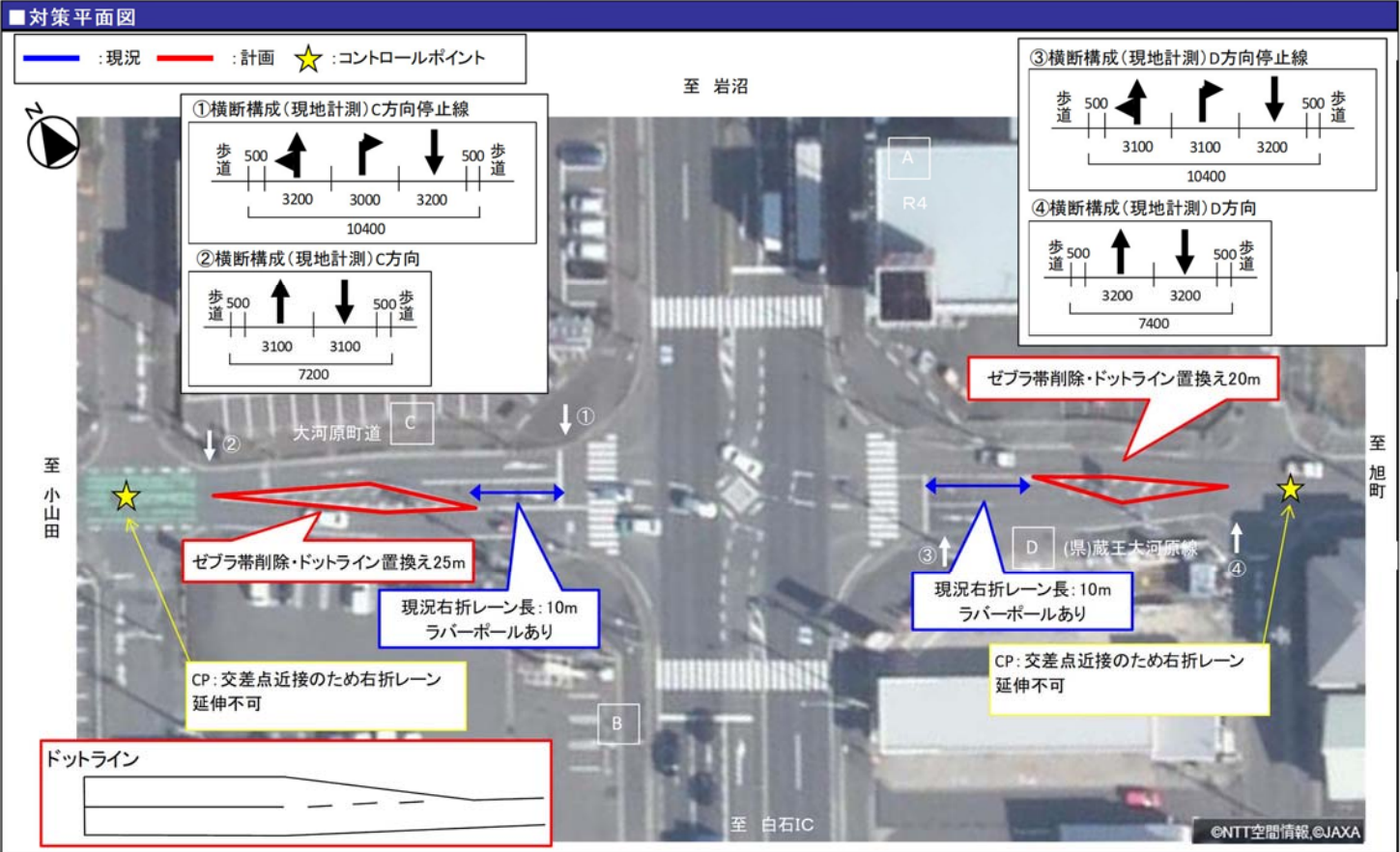
- 主要渋滞箇所に対して、道路管理者同士の連携による対策推進を検討。
- 速度モニタリング結果の提供などにより、国からの技術的支援をもとに、各道路管理者による渋滞対策を推進。

【No197.新南交差点(大河原町)】



渋滞要因	
C,D	・右折レーン長以上に右折車が滞留し、直進車を阻害することで渋滞が発生

対策立案		
対策方針	対策メニュー(案)	
C	・右折車の滞留場所を確保し、直進車を円滑に通行させる	・ゼブラ帯削除・ドットライン置換え
D	・右折車の滞留場所を確保し、直進車を円滑に通行させる	・ゼブラ帯削除・ドットライン置換え



【対応状況・今後の方針(案)】
 ・所轄警察署と打合せ・協議を行い、内容について確認中。今後、協議結果を踏まえ、大河原町と連携を図り対策を実施。

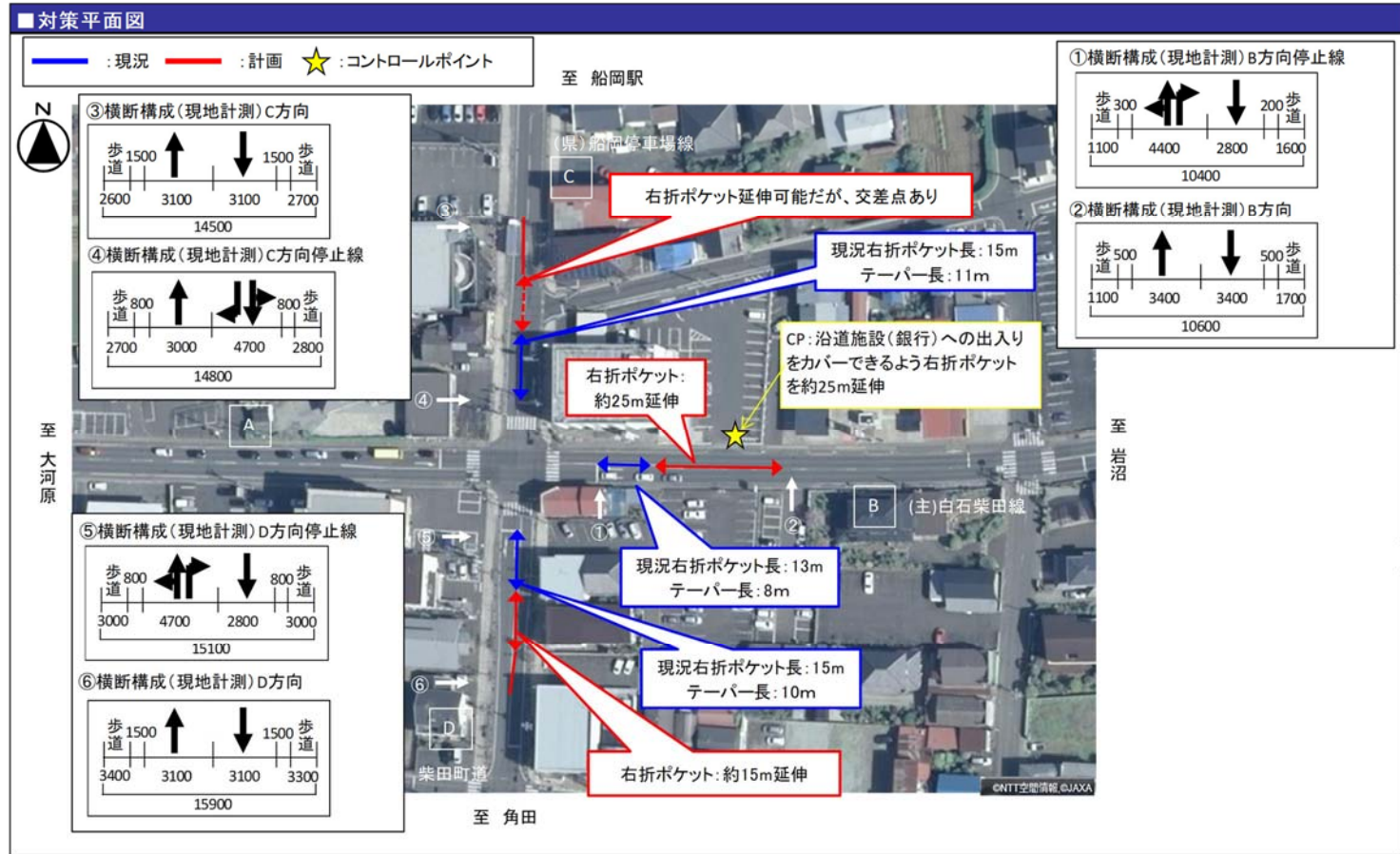
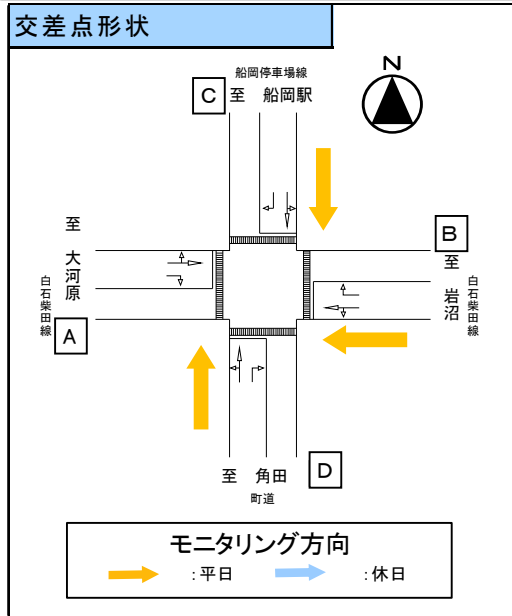
- 主要渋滞箇所に対して、道路管理者同士の連携による対策推進を検討。
- 速度モニタリング結果の提供などにより、国からの技術的支援をもとに、各道路管理者による渋滞対策を推進。

【No223. 船岡駅前交差点(柴田町)】



渋滞要因	
B	・右折レーンが無く、右折車が滞留し、直進車を阻害することで渋滞が発生
C	
D	

対策立案	
対策方針	対策メニュー(案)
B	・右折車の滞留場所を確保し、直進車を円滑に通行させる ※右折レーン設置困難
D	・右折車の滞留場所を確保し、直進車を円滑に通行させる ※右折レーン設置困難



【対応状況・今後の方針(案)】

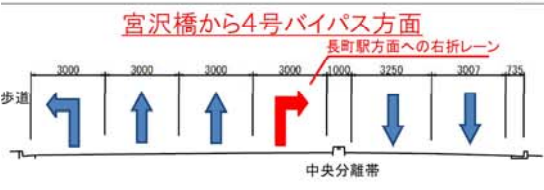
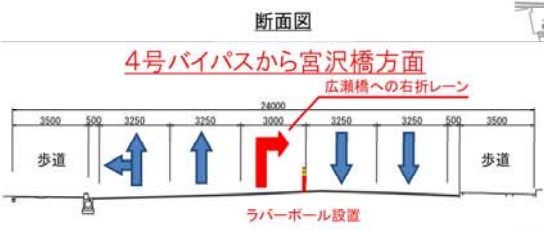
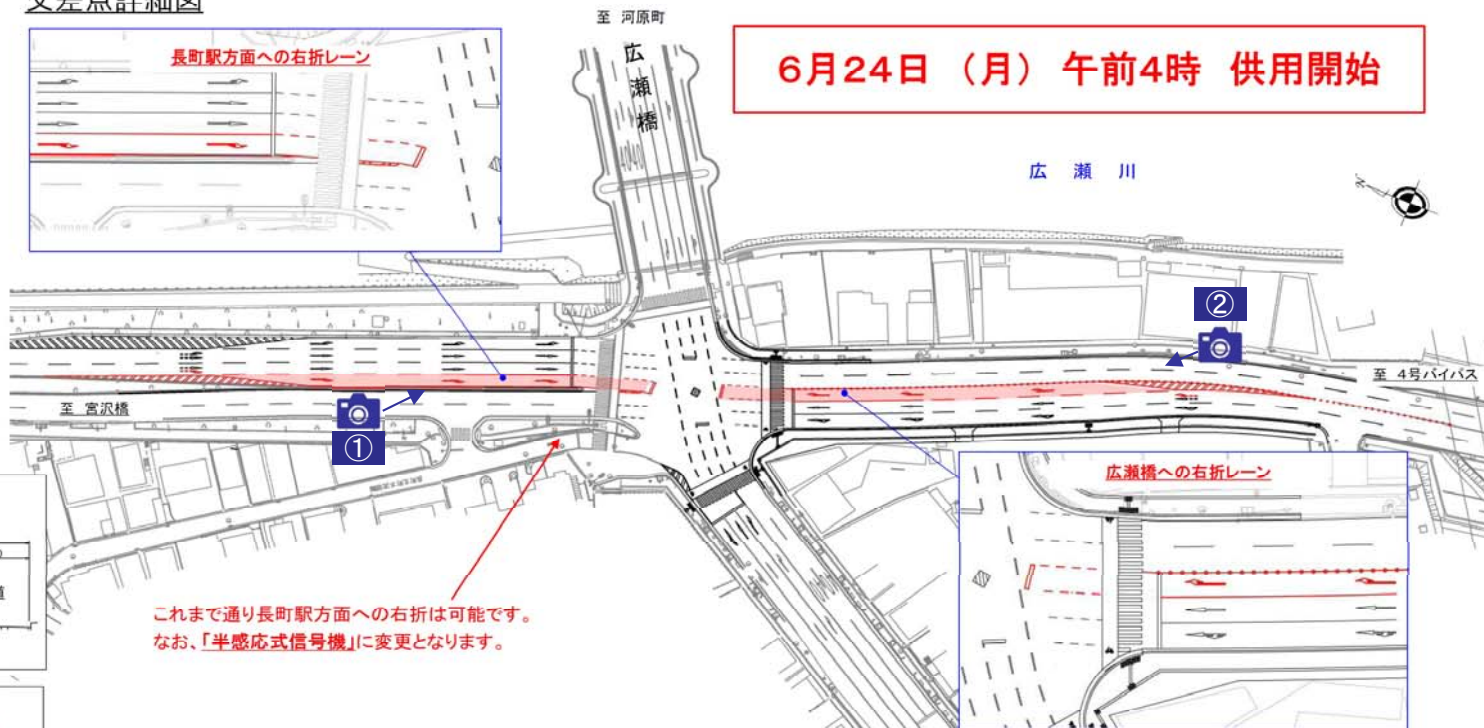
・所轄警察署と打合せ・協議を行い、内容について確認中。今後、協議結果を踏まえ、柴田町と連携を図り対策を実施。

- 仙台市では、県道仙台名取線広瀬橋交差点において、広瀬橋及び長町駅方面への右折レーンを整備。
- 4号バイパスから広瀬橋方面の右折が可能になることで、交通分散による渋滞緩和が期待される。

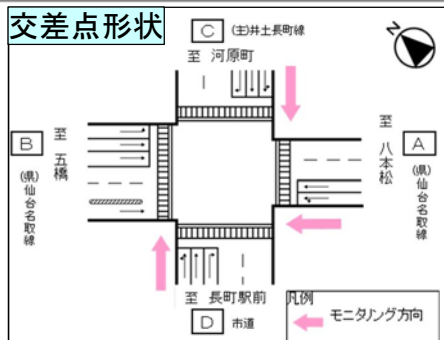
【No2. 広瀬橋交差点(仙台市内)】



交差点詳細図



これまで通り長町駅方面への右折は可能です。
なお、「半感応式信号機」に変更となります。

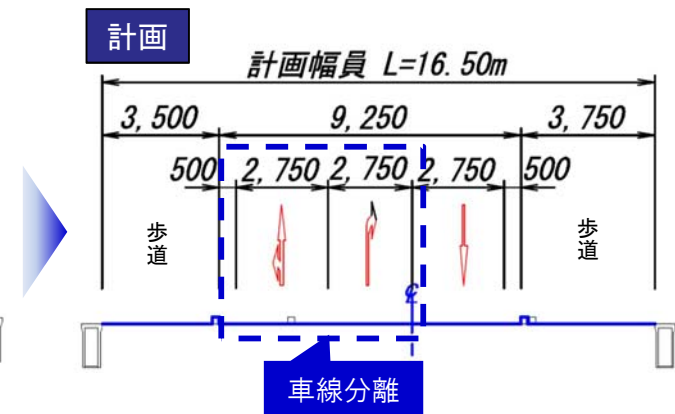
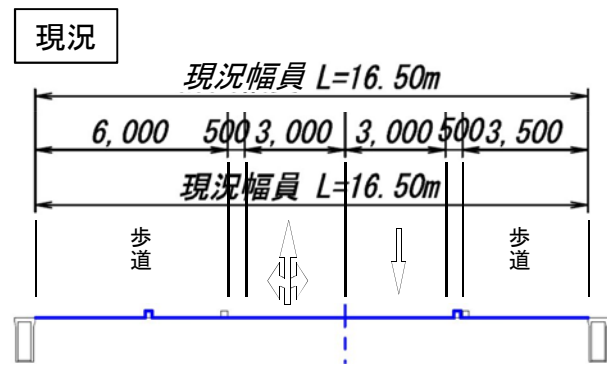
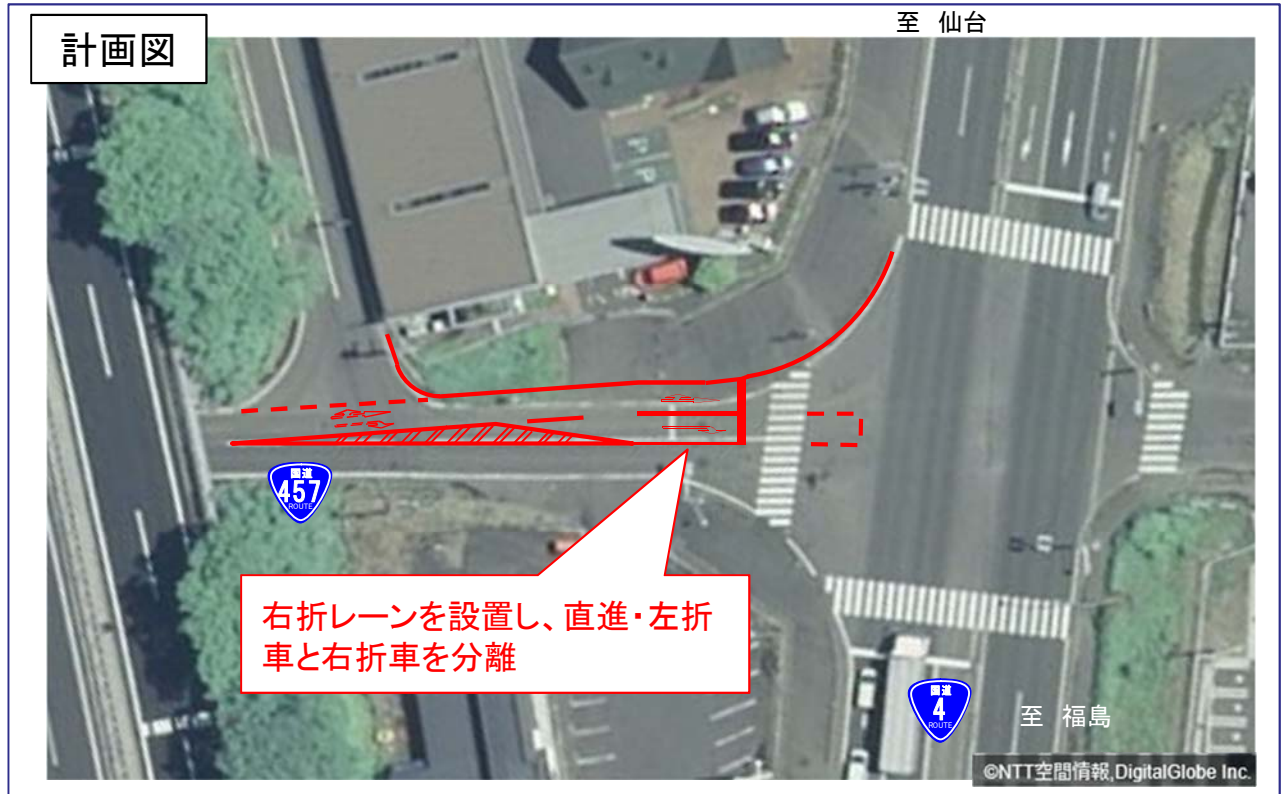
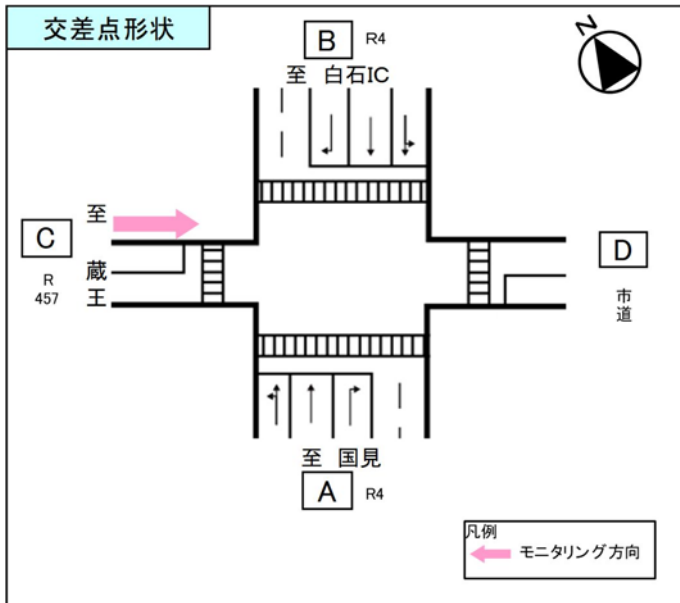


右折レーン設置

至4号バイパス

- 宮城県では、白石市の国道457号白石坂下交差点(国道4号との交差点)において、右折レーンの整備を実施中。
- 右折車両待ちによる直進車や左折車の阻害が軽減され、渋滞緩和が期待される。

【No194. 白石坂下交差点(白石市内)】



3. 5 BRTの運行について

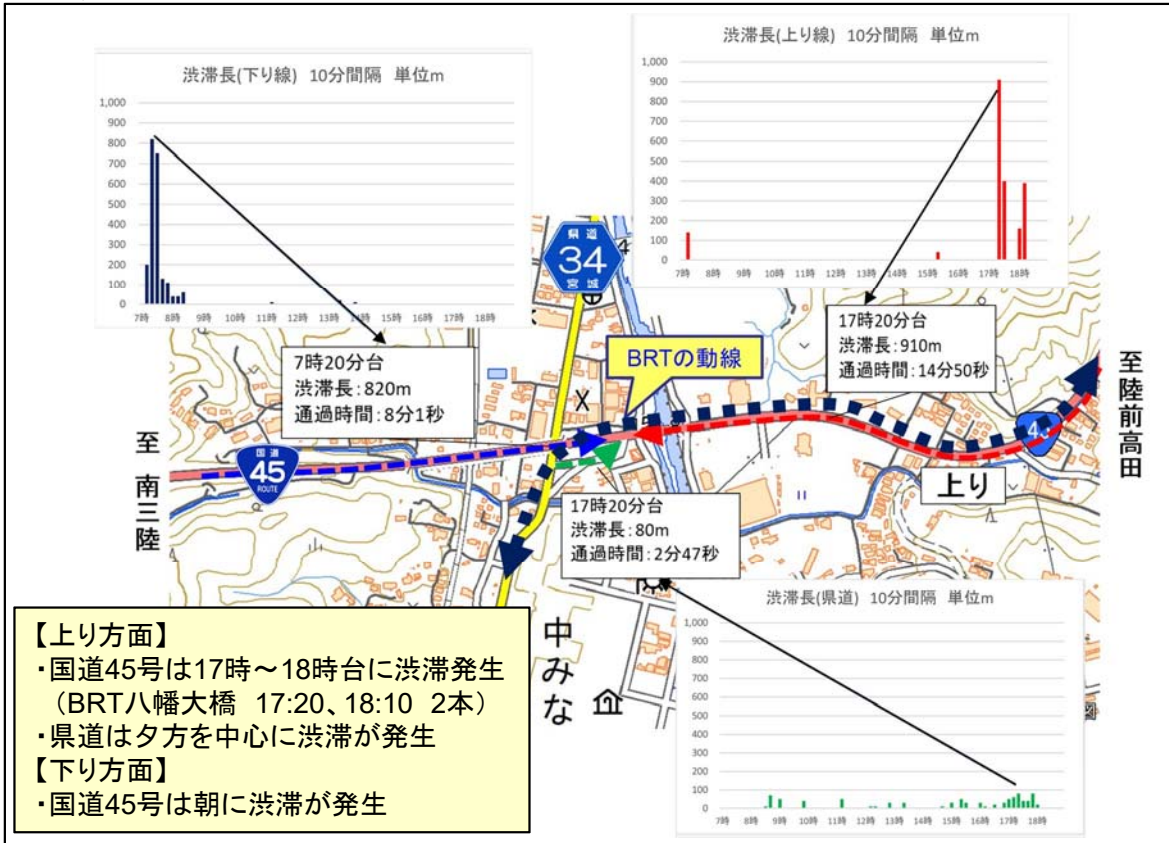
- 震災後、旧鉄道敷を利用したBRTが三陸沿岸部を運行しているが、専用敷以外の国道等、一般車両との混在交通区間において、一般道の渋滞や合流時に時間を要している。
- 中長期的には、三陸自動車道の全線供用による一般道の交通量減少が期待されるが、運行上支障のある箇所に対して短期的な対策を関係者で検討。



■八幡地区

- ・国道45号は特に夕方の上り方向で渋滞が発生。
- ・県道から国道45号方面も夕方に渋滞が顕著。

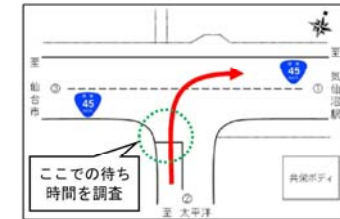
渋滞長調査結果



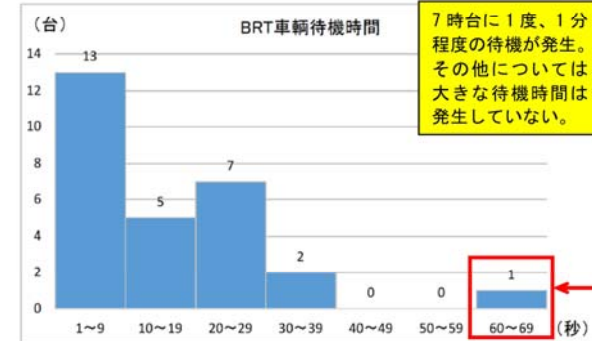
■大沢地区

- ・BRT専用道から国道45号気仙沼方面の右折時、朝7時台に1分以上の待ち時間が発生しているが、大きな待機時間は発生していない。

調査年月日: 平成31年4月23日(火)
天候: 晴れ



SEQ	時間帯	静止時刻	再発進時刻	待機時間(秒)
1	07時台	7:07:11.27	7:07:36.09	24.82
2	07時台	7:13:12.95	7:14:17.86	64.91
3	07時台	7:25:25.61	7:25:27.97	2.35
4	07時台	7:34:52.04	7:35:12.66	20.62
5	07時台	7:48:41.77	7:49:03.62	21.86
6	08時台	8:41:03.09	8:41:10.75	7.66
7	08時台	8:45:26.83	8:45:31.33	4.50
8	09時台	9:25:03.51	9:25:05.84	2.33
9	09時台	9:53:46.65	9:54:00.69	14.04
10	10時台	10:05:34.64	10:05:37.27	2.63
11	10時台	10:55:29.75	10:55:31.78	2.03
12	11時台	11:05:50.61	11:06:15.23	24.62
13	11時台	11:50:48.56	11:51:23.95	35.39
14	12時台	12:06:21.82	12:06:23.53	1.70
15	12時台	12:51:39.33	12:51:53.71	14.37
16	13時台	13:00:34.13	13:00:44.65	10.53
17	13時台	13:55:41.95	13:55:44.57	2.62
18	14時台	14:05:47.92	14:06:01.16	13.24
19	14時台	14:56:26.92	14:56:55.22	28.30
20	15時台	15:05:12.42	15:05:46.62	34.20
21	16時台	16:16:44.03	16:16:52.64	8.61
22	16時台	16:43:36.25	16:43:38.93	2.68
23	16時台	16:43:50.80	16:44:17.51	26.71
24	17時台	17:00:19.46	17:00:41.26	21.79
25	17時台	17:28:14.29	17:28:23.65	9.36
26	18時台	18:00:11.46	18:00:13.13	1.67
27	18時台	18:30:19.06	18:30:21.07	2.01
28	18時台	18:46:10.01	18:46:20.23	10.22



【対策の方向性(案)】

○中長期的対策

- ・三陸沿岸道路(気仙沼道路、歌津本吉道路)の供用による国道45号の交通量減少に伴うBRT車両の円滑な移動

4. 国道48号さくらんぼ狩り期の渋滞対策について

- さくらんぼ狩りシーズンに著しい渋滞が発生する国道48号上愛子地区において、H27年度から各種対策・調査を実施。
- R1年度は、山形県東根市や天童市と連携した出発時間変更を促す取り組みに加え、リアルタイム混雑情報発信により交通分散を促すとともに、地元懇談会を開催して地元意向を確認しながら交通容量拡大策を検討。

【主な対策内容とねらい】

① 広報の強化

- ・ 仙台市内の小学校に広報チラシを配布
- ・ 公共施設、P・A・S・A等の広報チラシ設置箇所の増設
⇒ 各種広報の認知度向上

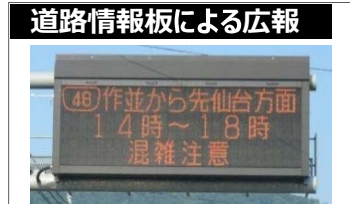
② 交通分散を目的とした情報提供の強化

- ・ 時間分散：混雑時間帯を避けた利用者に対し、さくらんぼ園の利用料金の割引等
⇒ 時間帯別交通量の平準化
- ・ 経路分散：道路情報板、案内看板による混雑情報広報、迂回の案内の他、混雑情報をリアルタイムで発信し、迂回ルート利用の促進
⇒ 秋保温泉ルート・高速道路ルートへの交通の転換

③ 交通容量の拡大

- ・ 地元懇談会を開催し、地元意向を確認しながら交通容量拡大策を検討
⇒ ボトルネックの解消による交通円滑化

■ リアルタイム混雑情報発信による経路分散の促進



広報チラシの設置・配布

時間の変更

ルートの変更

時間の変更 (入園割引等のインセンティブ施策)

東根市 6/15(土)~17(日)	天童市 6/15(土)~17(日)
<p>モーニングサービス 9:00~10:00</p> <p>大人 1,600円 ~ 1,000円</p> <p>子供 1,100円 ~ 500円</p>	<p>モーニングサービス 10:00</p> <p>アフターサービス 14:00~18:00</p>

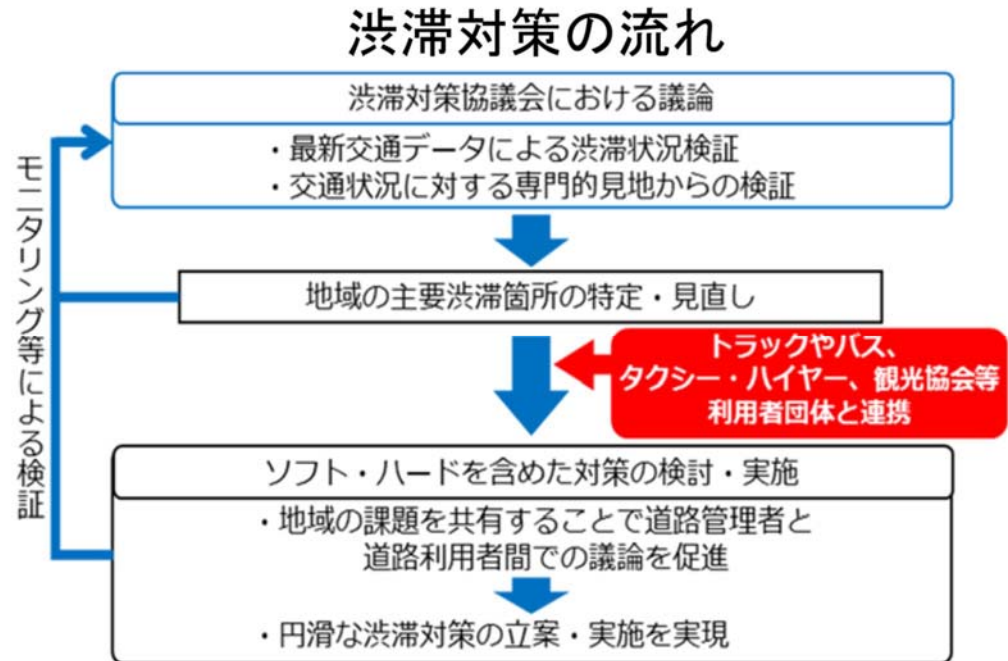
5. 道路利用者団体との連携による渋滞対策の推進について

■トラック・バス等、道路利用者の視点での渋滞箇所の特定制や、渋滞の原因者である大規模施設の立地者が対策を講じるなど、官民連携による渋滞対策を推進する。

【概要】

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会とトラックやバス等の道路利用者団体が連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施する。

主要幹線道路の沿道において、大規模施設の立地者に対し、交通アセスメント等の実施を求めるなど、接道承認時の審査強化を導入する。



H29バス・トラック協会要望箇所

要望箇所 75箇所 (タクシー・ハイヤー 11箇所含む)
うち主要渋滞箇所 71箇所 (タクシー・ハイヤー 10箇所含む)

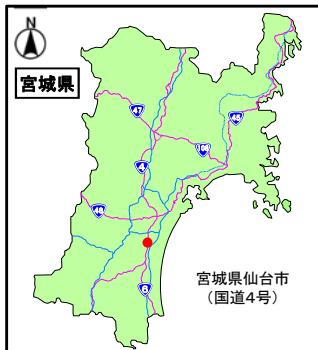
H30タクシー・ハイヤー協会要望箇所

要望箇所 16箇所 (バス・トラック 11箇所含む)
うち主要渋滞箇所 14箇所 (バス・トラック 10箇所含む)

モニタリングを行いながら、必要に応じて取り組みを検討

- タクシー・ハイヤー事業者からの要望箇所のうち、国道4号関下交差点について、令和元年度中の対策完了に向け施工準備等を実施中。
- 国道4号関下交差点では、右折車両が右折車線をはみ出し直進車の通行を阻害。県道側では直進車と左折車の混在による渋滞が発生
 - ⇒ 国道4号：中央分離帯の一部を活用して右折レーンを延伸(65m→120m)することで、渋滞軽減を図る。
 - ⇒ 県道杉ヶ袋増田線：道路用地を活用して直進レーンを追加することで、渋滞軽減を図る。

位置図

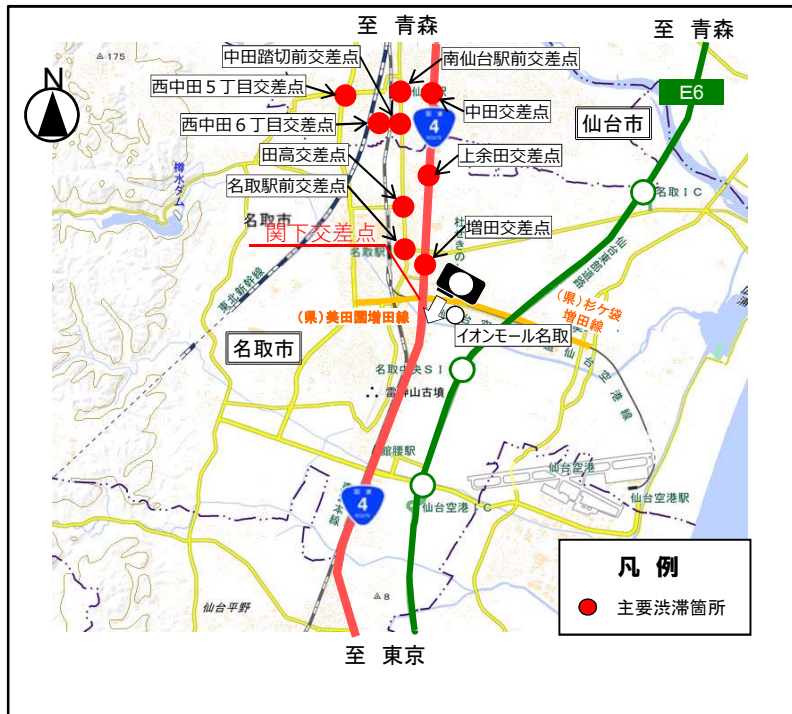


【写真】関下交差点北向き流入部(14時台)

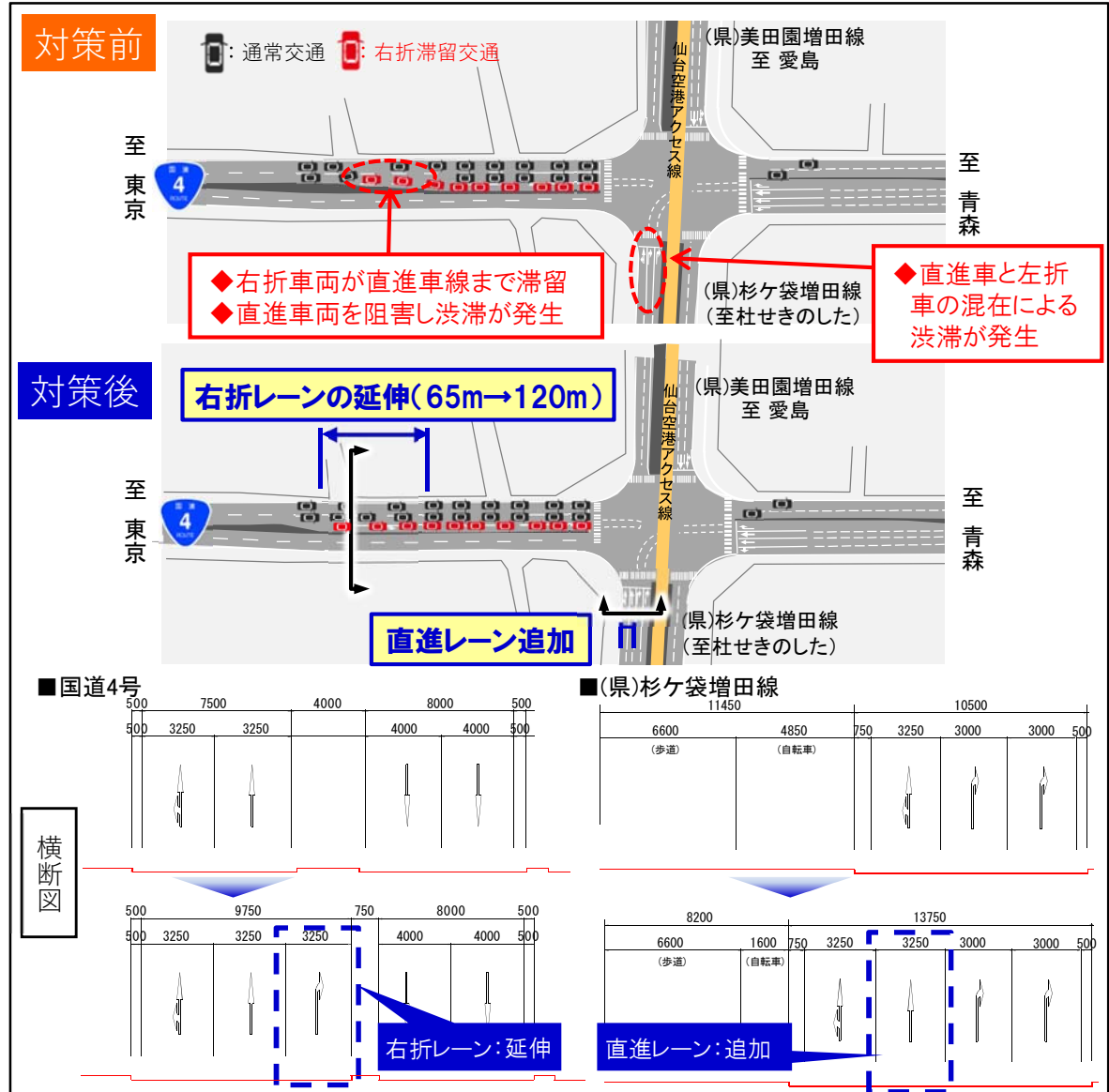


※H30.10.28撮影

広域図



説明図



6. 今後の取組方針について

①主要渋滞箇所の継続的なモニタリングと事業実施箇所の評価

昨年度と同様、プローブデータ等を活用した主要渋滞箇所の継続的なモニタリングを実施し、周辺路線の交通量・速度の変化等、事業実施箇所の効果検証を行い、主要渋滞箇所の解除を検討。

②実現可能な対策メニューを検討

市町村管理の道路における主要渋滞箇所等について、渋滞協事務局で対策に関する相談を受付。相談内容に基づき、各種調査の提案や実現可能な対策メニューを検討。

③東京2020オリンピック競技大会＜宮城会場＞に向けた対応

大会関係者や観客等の円滑な輸送と都市活動の安定を図るため、関係機関が情報共有・連携を図りながら広報等の対策検討を行う。